雜識　六

讃

内閣文庫
和書類
三二七五三號
八冊
一五〇函
二〇架

共八

内閣文庫
番號 和 32753
册數 8(5)
函號 150 147

国立公文書館
National Archives of Japan

目録

一 康六乙未年大小相生之数 一オ
一 年分説之言葉 二オ
一 未年春ノ狂哥 三ウ
一 戯文指役之事乃又字 四オ
一 未年春日左衛門精教出来書兩字 四ウ
一 利休之哥宗旦之哥 六オ
一 男女教出来見分四君備勝 八
一 男女教出来君子呑出来御屋中 七ウ
一 未年春男女撰取出来 十オ
一 乙未擬野馬臺戯作 十一ウ

一 未七月十四日神田橋外ニ而駕籠訴一件 十二ウ
一 豊前国ニ而捨子之者ニ而居候由之字 十五ウ
一 黒田家服部平左衛門養祖父之鳴狀遺札之事一件 十七オ
一 寺社奉行所ニ而落着候儀ニ付御勘定奉行所ニ而再吟味一件 廿オ
一 松平陸奥守家来ニ而ニ付ニ而其一件 廿一ウ
一 未十一月廿五日於牢屋敷出火之節一件 廿二ウ
一 未十二月廿三日小船町ニ而出火之節ニ而和一件 廿五オ
一 未十二月廿六日大風雨之節之一件 廿八ウ
一 仙台領西山縁組一件 三十オ
一 未十二月廿六日大村丹後守家来長崎表之儀ニ付由之字 三四ウ
一 西丸御留守居之者共之儀ニ付一件 三五オ
一 申年正月廿六日肥前国福井村ニ而百姓共出入一件 三六ウ
一 申三月十七日松平出羽守家来出入之一件 三七ウ
一 申四月三日大岸与兵衛儀ニ付御勘定奉行一件 四五オ
一 同 四月五日高田村一件 〃 〃
一 〃 〃 名主某ニ付相模国某所又右衛門一件 四八オ
一 同 八月十五日大坂屋与兵衛宅一件 四八オ
一 〃 五月九日四谷御屋敷ニ而不届之儀之字 四九オ
一 〃 夏伏見町ニ而鉄砲之事 五一オ
一 〃 五月町奉行所ニ而之字 〃 〃
一 五月廿五日夜深川中島豊菜之図 五二ウ
一 〃 品々之者別ニ訓之字 五三オ
一 コンダテ献物 同ウ
一 西田前戯詩習其外評判之集作ル 五五オ

一 申六月比朝鮮国村井嶋ニ漂着之者ニ付一件　五十五ウ
一 同十三日紅毛人風説書　五十七オ
一 同七月十七日藪村一揆相済候事　五十九オ
一 〃八月十三日封廻状御城代出仕之儀申付候事　六十オ
一 〃八月廿八日参府甲斐守一件之事　六十八オ
一 〃秋比流行之大小　七十八オ
一 〃其比[illegible]　〃〃
一 其比相場[illegible]　〃ウ
一 [illegible]　〃〃
一 〃十二月[illegible]写　八十オ
一 〃十二月[illegible]一件　〃ウ
一 〃暮比流行立寄方　八十八ウ
一 同[illegible]国年ニ付祝之儀　八十七オ
一 同京加茂[illegible]作　〃〃
一 同大小日并　〃〃
一 〃十二月廿二日[illegible]一件　〃ウ
一 〃流行[illegible]作　八〃オ
一 〃[illegible]一件　八九ウ
一 〃十二月[illegible]
[illegible]一件　九一ウ
一 右同断[illegible]一件　九二ウ
一 申年秋[illegible]写　九〃オヨリ
一 同大坂[illegible]写　百十五オヨリ
一 申年正月ヨリ[illegible]　百十八オ

天保六乙未年

天保むつのとし太平翁あらはし[illegible]成著

正月

春はめて[illegible]大路も[illegible]春の[illegible]

二月

[illegible]

三月

[illegible]

四月

一

小 夏山やしけりとあそて行末もなかなかみえぬしけみなりけり

五月

大 早苗とる田子のもすそに植わたす林をたのむとさなえ

六月

大 井川ならの風ふく夕くれはとしもあらしとはらふ安永

七月

小 萩か原はなの色香をことにいふ露もありけり庭の

閏七月

小 松かせのさはれは花もまつもなきあはれ庭の面影

八月

大 海の月をみんとすむ舟にをさへられても月の名にたつ

九月

小 冬山の初雪しくれ時雨して木の葉も秋の名残なるらん

十月

大 江山いくのゝ道も遠けれはまたさきにたつ人やありける

十一月

小 雪ふれは冬こもりせる草も木も春にしられぬ花そ咲ける

十二月

大 年の内に春はきにけり一とせをこそとやいはむことしとやいはむ

八十八夜之言葉

夫れ八十八夜は先八百万神八百よろつの神々をは
八海も海をも八方にかよふ八大龍神
されは佛の二十八品の蓮華経も八つの八千頌

の法楽にハ守護千北法をときて守ることハ宗旨にかなふて極楽世
界にハ生る事とく法華経乃花さくハの花も是に上るも鉢
を宗とする八八字四季に割りて世ニ侍る由にて宗門ハよらり
太郎兵衛ハ寺ハ句ありてア門となるお人ぎよふにハてる
我乃始まりハ月乃本日まてハいくさにハ代々比かゞ始とあり
此明が八陣図ハ八千二三人抜き表刀ちやりしがむか、
ぞうもさて又八大人ハ将義経ハ云ふ武し弁慶乃長刀も
八大なれども云伝ふる弓ハ比不思議あるもとも乃名ともと
八幡とも云ふ馬ハ大将ハ鎌倉にて角力ハ要八千許の都也
石をふくらませる八方ハ眼鏡砥ぐるも金なりなり山ハ宮本
若殿ハ千ぞう比岸とも云ふ川中にて八千風なまハ八京
乃中にハ八千乃春ちて八千八後にありて申さハ八せ人と申り

つゞく塩にハさこのハ名も云ふて橋立ハ八橋は比人有り
玉来るにハ八風より猪のくすみ釜座にハ町そのほか舟つ
きハ大坂にハ千本宗と云ハ坂くるみ楽屋敷にハ千本社有り
伊勢の道行ふとハ大自在天をも行ふ出雲の大さきハ比所もハ江に
おれ出ハ出ずるに枝も八道中にてもよ比中山八道ハかねがね
根ハ八里馬士八荒が口出すもハ此ハ八ツ半すぐられしかふ
見世に店とハ八百八町中にてハ大坂之富比土ゆかしハ町大とて見る
伊町女良比まつりにも八千本の里川中にて八ツ半ちて深川
中にて八様子のかしまへりにハ二ハ大きく鬼もハ十八もちて出る
女房の口ハ町にて八千娘ちて舞ハ人小浪に天狗八人
附く度々此ハ出る人八人義太夫根あり光八人ひるの衣装
にハ大八諸がけ竹八八月まてが申し本の出きちハ月々

ふかよしみつ人ハ八代八ヶ庄様又出生にも様八年也
に八首のうるさきありく藤ハ八声ふとゆくとゆの八ハ八ヶ尾
ウシ八ヶ頭横ニ八ツ乳ありけるとゆふ世の八八千とある
神にハ八八と云ひし也り

未年此の比世上に珍事有
近き比下谷長者町の湯屋へ武士壱人湯に入けるにあつ
きとてうめ候へと云湯屋ハ構ひも不仕候のき湯をうめける
より水ぶねへかぶりしとかれはきおとしと云彼武士湯より
上り湯をとかり浴衣をしまいよし
置たる着物をきて帯をしとさし若衆をとめて行よく
ときくするのおれ惣風が社の鎧風神と云くある

かんすゐにして足をいれ手をもむるの茶ゆつきとも
たけともせすぬるきとてこうくもせすに気をよりて
せん湯人のごときすともちん湯のもかんむりく
世にもてもうしの湯ちまよ
ゆうの代人の入迄にして

未三月此比し敷町
さん度新しくふふ江戸町
の桔女屋押入比やの抱文
まあり三以男女我ありよ居段
居るよ此桔女よせて当年いめつい
志りのしと事行所出塵行政

三成ニ被下之御杖指ニなりて
名ハ一ノ助二ノ助と申付
三成ハ一ノ助ニ而以下仍
三成より拝領之御茶杓を
のち宗旦へ遣申候と承候
かの茶杓も上ル様子にしく
わか申候へ共御尋ニ付書付候也

未三月

右之通り上田宗箇御尋ニ付上り申候
能斎記之かり申候

未年春比右衛門相伝茶杓本寺郎兵衛中宗

一文字棚

水指　安阿弥堂謄

向　なます　儀いかき　さしみ

汁　たいこん　粉山椒

飯

椀盛　鴨　ちよ　牛房　焼き

重箱　合ざくろ

吸物　とうふ　みつなと

八寸　鴫ナ丼黄　かきうるめ

菓子　けふの焼もの

茶　趣向菓子　餡かり昔　三種

上林詰

メ

四了節　千宗左道守　北村隆伯　北嵜西去二出九

何ゝ人ゟ茶道の本意を尋られし御書翰定之有り

近来茶道の称をうんする人情多しく只道具のみを配

をとおみ料理の美味をあまりすとしとし

驕奢のあまりて栖とするの深くなりけるわし

夫茶道は茶を宗とし守るなる言傳の事ゟ実義なる事を

とし文武の藝なくとも忘ることなく朋友の深切をつくし

謙譲の徳をとこそれこそ肝要なれよくよく味ふへし

何しまれしく此者なり

利休の哥

茶はさひてこころはあつくもてなせよ道具はいつも有合にせよ

曰

茶湯は只湯を起茶をたてゝ一服のむはかりなる合口のよし

宗旦哥に

花よりも実のなきものは茶の湯にてよそほひてのみ花は何かせむ

たゝよのよのせゝの高山の節奏書を要とすへきなり

□□庵　虚白軒

田安西谷殿上屋敷諸勝

養老園　額　三位宗武卿筆　大河内信古書

明松館　〃　庄内侯忠当書

蒼天　〃　松代侯幸貫書　佐田伊豆守

玉虹観　〃　水府斉昭公染筆

西月軒　〃　大湖寺留宝和尚筆
温故　〃　文之府字字草
漱煮門　〃　林左近将監銑草
箕椅　〃　東海寺雄峯和尚草
探勝門　〃　紫野大徳寺岩和尚草
暢春門　〃　大久保駿河守忠海書
暢春場　馬場
武陵園　桃林
兜道園　茶園
清風亭　額　桑名侯末文
衆芳圃　花壇
黄鸝谷　鶯谷

漱石流
蘘荷園　茗荷畑
飛泉亭　元御殿の腰掛
噴玉泉　吹井戸
臨瀑庵　大滝
小瀑布　小滝
稲玉祠　稲荷の宮
澄水亭　額　山川の茶屋　掛て茶屋中村茶屋
紫紋溝　第一ノ流
最勝岐　中島弁天
困居　額　小堀遠江守政一書　三十間

遂ニ被仰付し乃風光亭ニ於て御席ニ掛候様[illegible]

無為　額　元章集字

捲雪亭　水戸侯

人字柳

螢光床　同人

連理陂

蒼松塢　松京

歴澤園　梅林

向陽門　額　成島司直書

以上三十五勝

思安庵御茶　天保六乙未年十月廿二日

御客　右馬頭様　御簾中様

御相伴　老女　浜宮　通之二

一　掛物　雨月彩彩庵被　結ひ唐紙　衛之

麻荘へ御自作　懐中

寄松祝　[illegible]

一　釜　古芦屋　不昧公所持　山城紋　浄清作　風炉　指掛

一　花入　花入　三浦菊　一重切　宗旦作　内箱書付

一　水指　[illegible]備　中村宗哲作

一　茶入　瀬戸比丘尼　[illegible]　中[illegible]

一　茶碗　御所丸　金海

一　茶杓　不見斎　若[illegible]　銘　[illegible]

黒小丸椀

菓　半月盆　　蒸物
黒小一字椀
仙臺麩　さいの目切　鯛目打あへ

向　杉木地織部
白身さしみ
岩たけせん　いり酒
あしらひ

汁　白みそ
おろし大根一ツ
杉山椒

飯　白雪

椀盛　利休麩一ツ　せり
たまご　[illegible]
むしなまこ　[illegible]

引物　むし鯛
香物　奈良漬
強肴　貝の柱
後菓子　ひ菓子
[illegible]　巴もなか

前八寸　味噌漬鯛　焼[illegible]
杉木地縁高　湯葉
　趣[illegible]　手製[illegible]

御茶　路　初昔　上林又右衛門
開き　百日紅　蕨
勧物　富士　富士霊　[illegible]
　安倍茶　江月賛
刀掛　白粉
花入　唐物籠
　あかもみぢ　梅もどき
　宗旦　白玉椿
小柄　[illegible]　鰐口
　[illegible]

釜　万代屋　三ッ羽釜　ニ而橋図補作　鐶
更好棚　ニてこれ好田口桂ニ而造
唐傾　瑞葉書画　湯沢ニ而好　駒沢利斎作
香菓器　老松　一閑利　内箱ニ如心斎　綴書付あり
茶碗　二　黒印七　ニ而写　萩
水指　青磁七度
茶杓　東竹作　露ノ名ニ而
蓋置　三国人浄益
閑居

掛物　左　蘭石花鳥　特　文二
鈎帳下
中　絶之印君　高謝塵寰　白楽天　右文覧
右　虎山夜月　草堂中　菊秋他　文應
賛　岡田顕忠書
花　花寸蒔絵　青竹
炭斗　菓取
刀掛　絵代準
香合　蒔絵　野田玉川石
一　釣釜
自在　以伊勢国石ノ門荻造之
唐中自竹彦良作　虚白斎好之
十

一
不仕斎好宗和
茶碗
茶杓 銘四季の友 六ヶ之内作
棗
茶筌
建水
水指 利休形手桶 古銅的龍
中川浄益作
菓子具合
茶銘 千代の友
折ゟ
菓形 蕨折
上 蒲鉾 橋立
細根大根 結昆布
下 萩餅

天保六乙未年十月十二日
旅僊風 昌橋姫様 客 道寧 玄常 七郎
一 掛物 花鳥淡彩 不審庵宗守筆
一 釜 宇治川の水 名残宗安造 茶屋彦之傍
一 香合 松露 讃州高松之土にて作 一翁宗守作
一 花入 花紅梅 利休作
一 水指 菱馬撫松 仁清作
一 茶入 仁清中興名物 銘年頭宗和
一 茶碗 黒楽 左入作

一　菜椀　[illegible]　[illegible]金[illegible]切

皿之椀
山崎塗　汁　[illegible]汁

向　きし細作り
海そうめん　[illegible]

飯

椀　玉子豆腐せり

香物　[illegible]みそ漬　青物　奈良漬大根

吸物　[illegible]

八寸　[illegible]

菓子　[illegible]

[illegible]菓子　[illegible]

茶器　[illegible]　[illegible]

開之香

[illegible]　小床　[illegible]

遠州　[illegible]

蓋置　[illegible]

[illegible]　[illegible]

菜椀　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

水指　[illegible]

蓋置　一閑人

十二

乙未 擬野馬臺詩 ○初 □終

禮祭公日到運寸二尺一
高年當亡來開士僕泥根
松討許番康減捕盗金男
引敵判一播有風流吉珎
方奥嵜長磨横縦跡葉言
切夜行度此假宅門落近
害五分諸國聲之日應感
人走一斬滿男女願千建
吉兵死主出若老突本再
早葉毒城石師兄弟如弦
瞽眼画置三漁婦猩猩三
驚諸師女千貧人以足彈

天保六乙未年七月十四日御用掛り書写離附

天保六乙未年七月十四日晩被相渡候分ニ而御座候又見ニ離方當候得

先年當寄写出入[illegible]ニ御座候

酒井雅楽頭家来
[illegible]
山本宗平
同人娘
[illegible]

酒井雅楽頭家来
[illegible]
[illegible]
山本九郎左衛門

右之通り又第之紙之写ニ而[illegible]乙未年十二月廿三日[illegible]

近年[illegible]有[illegible]

内[illegible]

十三

中追放　前書之者共儀元文元年十二月廿六日御用

番之節於評定所中之者共　大岡越前守殿神田橋

外ニ而も兼而申付置候并悪党共中ニ而も右之者

但手頭之儀右辻番所へ留置候処[illegible]

柳原[illegible]不届ニ付右之者共[illegible]

所相違無之旨申[illegible]儀ニ付[illegible]

出候[illegible]申付候由申渡之

十二月[illegible]

酒井雅楽頭家来
庄野甚兵衛

神田橋外[illegible]辻番所へ申候[illegible]

酒井雅楽頭家来[illegible]出羽守[illegible]婦人

同道[illegible]在所[illegible]留置候中[illegible]辻番人

中出[illegible]家来[illegible]所[illegible]

婦人[illegible]

陽[illegible]

辻番[illegible]文書人[illegible]申渡之

手鎖

右之通手鎖[illegible]便[illegible]

寛保[illegible]
[illegible]

出羽守[illegible]
四十二歳

右同人妹
[illegible]
廿四歳

[illegible]
文吉
四十二歳

右之人々未明於雅楽頭家来庄野並ニ文左衛門ニ出逢ひ
申候ニ付

一ヨリ先山本宇右衛門
上方筋ニ而生害致し
献ハ出候得共宿
急度
召取
其之者

右雅楽頭家来之者共手負乱妨と相成其之人々被切
候ニ付御役所並ニ寺社方深井町奉行被切候襟首
脇之長井寺社奉行候咽喉中ニ寺社力手被負候

一其より彼ハ逃候水道橋ニ於て酒井雅楽頭ニ迎ひ候人
廣其上之人のよし

右雅楽頭家来之者酒井家ニ而召捕申候

酒井雅楽頭家来
本多主氣揚家来
三原ノ方
山本九郎右衛門

右之者共江戸在勤之両人と申合本多主氣
揚小雅楽頭家来ハ於小幡候ニ雅楽頭家来段服相成候し

酒井雅楽頭家来
三原某ノ娘
アヤ代

右之者之小幡人相持候者之相違無之候
思召候し当家之雅楽頭家来目見ハ相対
良様之事相成候し

十五 山本九郎右衛門

文吉

右之もの異説之人扶持被下置小役人ニ被召抱候旨申渡之

去月比豊前国ニ而捕之其外吟味之上存寄無之

宗旨神仏

豊前国小浦村
猟師
善之助 四十

同人妻
きせ 三十五

同人悴
岩次郎 捕 十三

同人娘

其外の 捕之候人 八

右之者共外之人
同村猟師
吉助

同村百姓
治郎吉

右之内吉之助義者当午三月右猟師源蔵
吉之助文次郎事同村百姓之娘ニて世上ニ而ハ諸
別宅ニ而同居世上ニ而十五ヲ十月生世上ニ而生候
国宗旨神社者猟師之十三歳文治郎同年吉之助
外国猟師与申吉之助与申人与世上ニ而猟師之
漁ニ出候ニ付海上ニ而吹流ニ而異国着ニ而御座候
之儀ニ而去ル申六月捕之上世上懐妊仕候ニ付

右御定至目録ニ記有之ゆへ早速住所組合名前書
小前男子差出候様被仰付候ニ付今般取調之上差出
し候ニ付出精致ニ付御褒美として銀子被下置候
右被仰渡候ニ付御請書差出し申候尚又右之段
之由承知仕候ニ付男子之内右之者共男子壱人
御手当被下置候ニ付以後右之者共へ申聞候
何方ニ而も不相成候ニ付夫々御請申上候
右之通被仰渡候ニ付養育料之儀者此段申上候
同村百姓之内右之者共へ相渡し申候右之外ニ
而も壱人ニ付銀子五拾匁ツヽ御手当被下置候
尚又右之者共へ相渡し申候ニ付右之段御請
申上候以上

右之通被仰渡候趣承知奉畏候依之連印を以御請
書差上申候以上

未七月

未壬七月十五日道中奉行所ニ而我等へ被仰渡候服料
匿田宗養柏右之者共へ被下置候ニ付右之段申上候
之儀被仰付候ニ付則御請申上候右之者共
入別紙書付を以御請申上候以上
由緒書付を以申上候右之通相違無御座候
不申上候ニ付右之者共へ申渡し候
御座候ニ付右養柳之儀被仰付候以上
七

思召ニ来ル十三日被遊御出候ニ付出羽守殿御渡有之候ニ付来
御入被遊候差向御同日之儀ニ付出雲守様ニ付御差上ニ而之儀
之上ノ御前御出被成候上ニ而御沙汰之
壬七月十五日
松平美濃守
小笠原次
別紙
七月廿七日被仰出候儀ニ付御用番御奉書被為仰付候御達有之候
覚
一 茶筅上品　但添書付　壱本
一 同上煙草　但足附拾対　弐ツ
一 蒔絵箱　壱ツ
一 博多織帯地　拾壱筋
一 香箱　三ツ
一 三宝飾　四ツ
一 道具数　拾組
一 重入　壱
一 重箱拾枚　但箱入共ニ引出物ニ而取計可申候事
　　五拾枚　壱束張
　　拾枚　弐束張
一 金子壱封之御数々　右之通引来リ之儀ニ而取計候事
一 南部紙　弐冊
一 銀煙管　但箱付　三本

一 円　三本

一 赤﨑博多役
但太郎
但拾俵ニ而五斗　弐匁

一 眼療道具并汁類数々
但汁類ハ余程製法ニ御座候
其外ハ趣意書ニ有之

一 煙草入揚数多所々細工物数々

〆

右之品々者御用ニ付御座候処、当年迄ハ相違無之候而、近来者御用ニ相廻り

一 菓子類上品
但諸国名物之品　壱通

右菓子類品数地所細工物共ニ揃差上候

一 円上臺硯箱
但黒塗蒔絵付

一 茶碗箱入　壱つ

一 博多帯地　拾反
右ハ茶碗箱ニ入添候

一 瓦屋　二つ

一 三味線入　二つ

一 書道具類　拾組

一 三味線抱土産　[illegible]

一 御菓子類　拾袋
但菓子包ニ而差出候
右ハ菓子類等ニ而諸方江差遣候

六匁掛土器之内
一 金銀付并掛土器　壱対
　内判之掛土器　壱対
　同 弐掛土器　沙対
　同 掛四匁　壱対
　同 掛土器　沙対
　同 弐匁　壱対
一 銀入
　沙之土器ニ箔置候事
　壱ッ宛掛土器ニ付
　壱ッ
一 金入　壱ッ
一 瓶頭　沙鉢
　右ハ箔を置候ハ、可然候
金銀之類皆ハ六月迄相成候通

一 金六匁掛土器之内
一 金掛九匁
一 金子封之仕数々
　但銀子ハ御用米之内ニ而被下候様ニ
一 瓶煙管　六本
一 弐枚鉢　沙候
　但御用候ニ付
一 眼鏡道具ハ挟付数々
　但付候ハ、金銀ニ而製作候、挟候ハ挟物磨之事
一 煙草入物枚之箱ハ弐本御細工物数々
　又
　右之通御座候以上
　壬七月
　　　　　挿申候様申来
　　　　　大野主膳
廿

一 右隠岐守様御領分ニ而討果候一件、隠岐守より早速届
役人共出張、江川太郎左衛門手代中立会、検使
済ニ付、死骸之儀者見届候上、隠岐守御預中検使済候
隠岐守家来弥三郎 与七郎 伊兵衛 安右衛門 立会之上 弥(?)請取
其者共、同村役人共立会、品々追而可申上旨
申渡候処、右之者共、江川太郎左衛門手代 大森 敬之助
中之儀も有之、右同村役人共、手附之内ニ而 死骸相片付候儀も有之候
隠居所ニ而、同人共之内、勝之介 差添 相(?)来候ニ付
少々遅く候得共、右之趣御届申上候
一 右同人ニ付、江川太郎左衛門手代より、立会之上検使十一日
陣屋江差出、勝蔵儀、入牢ニ付、右利助ニ付、吉助江
家来共江御預ヶ申付候

林圭三郎 支配所
常陸国信太郡
石原村百姓
治部右衛門
年寄
同人悴
勝蔵
十三才
入牢
同郡神谷村
百姓熊太郎悴
格ニ而在所出奔いたし
利助
二十四才
右利助儀、当年十一月十五日夜、勝蔵儀同人ニ而悴利助を殺害
致候、右利助入牢之節、御手當ニ付、金子差遣候而、一同申立候処、右(?)
当月中、右利助儀相煩、病死仕候、依之、悴吉兵衛
治部右衛門江御預ヶ申付、右利助死骸之儀者取片付候様

願之様相来候ニ付右ニ而右之町役人共村借申合候処
差当難渋ニ付家業出店ニ而右之者共之利勘ニ掛合候処
右町人ゟ追々出銭致ニ付右之通者共ニ重置候処右之者共
聞済候段ニ付右之利勘之段其外利勘之儀も不相成旨申之

同町ニ而病気ニ付相模屋家業相休

相模屋
藤兵衛店
佐兵衛
久右衛門

芝浜松町壱丁目
久兵衛店
佐吉
卯七歳

右之者共不相成旨申上候

小網町壱丁目
家主 伝兵衛
栄吉母

右之者共病気申上候

田町弐丁目
伊兵衛店
辰之助借屋
又五郎
辛九歳
勝之丞

廿弐人
久米次郎申上候

久米次郎
辛六拾
栄次郎

右之者共去午年中町々往還ニ而夜中之者ニ聞合

辞達之儀ニ付右別段申付候処佐兵衛ゟ申立

其外右之者共之儀ニ付差紙之上御用捨罷出

御糺之上相成候

未十月比者松平右京亮理〆方申立之儀ニ付差出候

下谷通新町
　家持　伊兵衛
本石町四丁目
　岩田屋
　　源兵衛店
　　　理　平
野州□□郡
　東□□村百姓
　　　孫兵衛
武州葛飾郡
　□□村百姓
　　　幸治郎
日光寺領
　□□□百姓
　　　権　七

其方共儀印旛沼古堀筋之儀ニ付存寄申立候趣ニ付
印旛沼家来□□□□其段申立候ニ付其方共□□□□

水保及年来見分致□□□□□□古来印旛沼之義金服
重者数□□□□□□□理□□□□□□□□□
村方□□□□□□□□□□□□□□□□□□
請方□□□□□□□□□□□□□□□□□
大殿□□□□□□□□□□□□□□□□□□
諸□之□□□□□□□□□□□□□□□□□
之□□□□□□□□□□□□□□□□□
掛□□□□□之□□□水車一艘ニ仕掛ケ水汲
上ケ□□□□□□□人掛り凡□□□七千人□□□□水
多□□□□□蛇腹車□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□村□□□□□□□□□□□□□□

入用之儀ニ付諸人寄人并ニ上方金子共仕方ニ
以上ニ候得共右場所之儀埋ニ付入用高ニ付掘候前
村方ニ而御座候ニ付堀ニ掘候ニ付定而入用高ニ相成候
何程ニ而も候ニ付前々より敷ニ掘候事候得ハ埋り候ニ付金子無之
も有之候得ハ右場所掘候と申も掘り申候ニ而も大切之儀ニ付
用之儀ハ千両ニも及可申候ニ付稼方内ニ而五拾両も渡し候
夫より御奉行様江申上候処右稼方之者共江申候得ハ餘之入用
右五拾両之儀者掘立金ニ而下ケ置候得ハ内之三拾両
其外被下候段申上候処大小場所御内證ニ而被仰付候
之掘方并出入等之儀ニ付別段相願申候
但稼掘金之儀ハ此節願書之通御下ケ被成候様奉願上候
追而出来之節掘方致可申候

此書付
秋元但馬守殿
松平右近将監殿
御勘定奉行衆

右通被仰付候ニ付四人之ものニ而當場所掘立候ニ付御座候
尤先年ハ稼人共右場所ニ而堀立候ニ付御座候
出稼之者共并稼場所ニ付候者共ニ而相願候
掘方之儀何分ニも掘立候様被仰付候ニ付是迄之通
之ニ申渡候場所江出役中并ニ右之通可申候
右之通ニ付右場所掘中稼人共ニ而被仰付候之
埋金之儀ハ年々五ヶ年分ニ而残金有之候ニ付一ヶ年
正金ニ而年々五百両宛ニ付被下置候
右九ヶ條之分壹冊ニ書付

二千七百石之見積り

九分之事

三ノ〆二千三百二俵九千二百石ゟ

上納高之九分之事

六千三百二拾俵

七千九百石ゟ

[illegible]ゟ之御取込高之儀

右之外

[illegible]之廉[illegible]九分之事

千三百二拾俵[illegible]拾石ゟ

[illegible]之御[illegible]之九分

生二百二千六百二千俵[illegible]千九百二拾俵ゟ

[illegible]之外[illegible]人[illegible]徒[illegible]九分之事

[illegible]千二百拾九俵

二千六百拾[illegible]

未十月廿三日[illegible]御別紙[illegible]

中濃之人

[illegible]

二[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出雲大社之儀者今度御用付候儀定之存候付被ニ尤
増候ニ付若林勝之丞ニ右ニ付貴殿申候様被申候旨
候ニ付大社惣中ニ者ニも先々ニ住持之相撲ニ謝礼
義可致候段申ニ付京ニ相談候ニ付後ニ茂申ニ付能々
申談人留守ニ付候而相済候之間通以後ニ者取ニ増相違
以ニ而相済ニ候ニ付益之者御座候之処も奉ニ存候
通ニ而為取ニ御座ニ者相談候而ニ付而為何候段
謝礼之事貴様御書状ニ而早々申人ニ候間様子ニ付候
得其旨ニ留守ニ者奉存候而為其段御座候大社
何ニ付候ニ付貴様御ニ而候ニ而毎年ニ而存候ニ付
其上御座ニ申ニ和候　御名判
未十二月廿二日

封紙之写

出雲大社両国造
出雲男
御名
未十二月十五

右書状御届書御返答ニ付差出候書面也御書付之写出雲大社寺社中江

一通者
掛合ニ付候

十二月晦

封紙之写

出雲大社国造
出雲杵築中
寺社役

桜井久兵衛
未十二月十五

深谷伊兵衛
未四月十八

三川兼之丞
未四月十五

右者通之趣申渡候
年来相違無之
右流杵築人差出候

押込

仝様

押込

病死 九平治代
御鷹匠組頭 宗八
金之助

岡田 [illegible]
御鷹匠 [illegible]
山田吉兵衛 五十三

右吉兵衛養子
山田平三郎 三十七

右吉兵衛代
与三郎

日光御 [illegible]
御鷹師 [illegible]
鈴木佐渡 五十一

右佐渡養子
鈴木猶右衛門 二十八

日光御 [illegible]
御鷹師 [illegible]
宮之助倅
岩田孝三郎 三十六

右宗兵衛代
忠兵衛 三十

日光御 [illegible]
御手伝 [illegible]
御鷹匠師
五兵衛 [illegible] 五十

日光御 [illegible]
小野新之助
福田伝八 七十七

病死 [illegible] 代
田中源兵衛

仝様

家来 [illegible]
訴捕

[illegible] 捕 [illegible] 之上
訴捕

不捕

去ル辰年出牢申渡候上
押込

新捕

去ル信九日御渡之後上
押込

召捕

右同人倅　福田江右衛門　二十四

右同人子供　伝七　年十四

日本橋
小田原町
御中屋五兵衛小田原町
五兵衛　四十九

右同町
五兵衛　二十一

日本橋
小田原町
大浦源之助　二十五

右同人子供
半之助　二十三

去ル信九日御渡之後上
押込

手鎖

急度叱り

右者関東伊奈半左衛門殿御代官所
村無宿者共吟味仕候

十二月廿六日

日本橋
小田原町
御桐油兵衛
今井仁兵衛　二十七

右同人子供
伊之助　二十二

神田松下町三丁目
武兵衛店
久左衛門　四十五

右同町
安兵衛店
[illegible]　四十八

未十月廿二日大番役[illegible]

座敷

座敷ゟ入
座敷

中[illegible]
[illegible]

[illegible]

出殿

大番役
佐々木[illegible]之助
未四十[illegible]歳

同人养父
佐々木[illegible]
未六十[illegible]歳

大番[illegible]之助倅
佐々木[illegible]郎
未十九歳

大番役
片岡[illegible]郎
未四十[illegible]歳

[illegible]
[illegible]右衛門
未六十[illegible]歳

神谷金[illegible]
未四十[illegible]歳

光[illegible]
未[illegible]歳

相州鎌倉御鉄炮
町打場見廻り役

平野[illegible]彦四郎
未[illegible]歳

押込

金井[illegible]一郎
未[illegible]歳

座敷ゟ入押込

右[illegible]兵

宮原長四郎
未[illegible]歳

押込

新[illegible]

桜井[illegible]
未[illegible]歳

桜井良[illegible]
未[illegible]歳

右[illegible]所[illegible]大目付[illegible]井伊[illegible]守[illegible]

座主江之旨可申渡旨伊賀守申渡之

未十一月廿九日　村田将監

十一月廿六日

依父科中追放ニ付而
妻子共ハ御赦免ニ付手前
手前江引取申度旨申
中追放
御免之

右親類深井伊賀守江御渡之村越手前江引取申度旨伊賀守申渡之

十一月廿八日

未十一月晦日　村田将監

御座主御預り
伊賀守様御預り
御手前江

右人　二男
深谷金十郎
未拾三
深谷源三郎
未四歳

太田役
佐々木将十郎二男
佐々木将十郎
未八
同二男
宮吉
十
同
和兄吉
四

依父科中追放ニ付
御預ケ被成候
親類方江引渡ス

右親類深井伊賀守御預り御赦免ニ付伊賀守より太田与右衛門江相渡之

座主江之旨可申渡旨伊賀守申渡之

十一月廿九日

未十一月廿八日　御預り御赦免ニ付而西之蔵役所ニ而深谷村田将監

一両人共ニ
揚屋江遣之

三十

御預り
西蔵
未二十四
二郎

一通 為給之日雇人ニ付
請ケ申候

右於評定所村上大和守前井伊兵部少輔大岡越前守立合大和
守申渡之

十二月廿四日

十二月廿四日 [illegible]

日
[illegible]

長谷川[illegible] 二十四

吉田虎次郎 三十

[illegible]
吉田金[illegible]郎 [illegible]

[illegible]
佐々木[illegible] 五十

[illegible]

一通 [illegible]
[illegible]候

幸助 五十三

[illegible]代
幸[illegible]郎 三十三

小林并民部
[illegible]渡郎 三十二

[illegible]
[illegible]

乃吉 三十九

右於評定所村上大和守前井伊兵部少輔大岡越前守立合
大和守申渡之

十二月廿六日

三一

青年二百両御拝借之内返済仕候事

金弐分之掛金之内
返済

金弐両三分
御拝借返済

金三両弐分
返済

金壱両弐分
入用

金弐両弐分
返済

御拝借方 西山鐵次郎

出店 長谷川勝次郎

御拝借方 吉田虎次郎

右世話役 佐々木忠右衛門

中橋 米屋 関口源五郎

野州 市場 内田 幸助

村 代 幸兵衛

一 金壱両弐分
返済 中頭返済

東新 伊勢屋 道具屋 万吉

鉄砲洲 南紺屋 南条新三郎

常盤仲町 清兵衛

芝口 佐兵衛

神田 御成道 平兵衛

右於拝受所村生松ヶ嶋井伊掃部頭殿大番頭
中瀬之

十月十六日

預ヶ之揚屋
御預人

拝之之同人之
頭之御預人

松平右京亮　家七
二十七

御膳奉行　西山織部

同
御台所　長谷川勝五郎

御膳奉行　吉田虎五郎

御小性組
本多中務組
堀七左衛門
五十九

一同断
御預人

預ヶ之
[illegible]之外御預人

一同
預ヶ之
御預人

預ヶ之
[illegible]之御預人

御膳奉行　中川市右衛門
六十二

〃　杉浦勘兵衛
三十九

〃　青木市左衛門
四十七

榊原兵三郎
五十七

御膳奉行　吉田金三郎

表台所
梶方〔組〕之人
友五郎
四十

三十三

西山織部家来
佐々木小右衛門

一御役之面迄ハ
頭ゟ之衆被遣候

一御役之宰相ハ
老中被遣候

一御役之大目付被遣候

北政所
東洞院五郎兵衛
南條新之助

小柄弁太郎
関右半兵衛

紫竹御所
名主 清左衛門

菩提寺門
年寄 治左衛門

精進所御門
年寄 七兵衛

駒込御所
東林寺
能登 幸助

旗奉行
幸右衛門

東山殿御所
使番山田右衛門
山田右衛門尉
下吉

松御所
佐之助庄兵衛
五貫
庄七

加奉行
太吉

御勘定衆中筋
森川右衛門右衛門尉

奴之弁代
藤四郎
市五郎

村井和泉守 酒井伊賀守 大久保長門守 大和伊勢守

中略

十二月廿六日

未十二月廿六日長崎表ニ而去ル申年正月廿三日御用書状和蘭陀
所ゟ御届申上候

右者唐船長崎入津之節唐人共江相渡候十二月五人日本漂流人
無難ニ而先般御届申上候漂流人共在留中守衛方之儀ハ文
護送之儀唐船ニ而南京ゟ長崎迄大浦私領へ送
国人数之者御届申上候薩摩守ゟ差送り人数之者相渡し申候
候段御届申上候以上

十二月廿六日

大村丹後守

天保七丙申年分

二月四日對馬守家来ゟ申出候ニ付右之段
右ハ唐人共在留中御届申上候

一 通り候之由相渡候

一 通り候之差添人別頭ニ相渡候

病死
ニ付出

御役人
平田清右衛門
申七十三

御番所
菅谷山城守
御役人役
数馬平吉
二十六

同之代
勢之助
二ノ橋浅三郎
五十四

日之番
小嶋乃右衛門
四十三

御役人
御役人
往 四郎

右於評定所土屋相模守殿酒井雅楽頭殿小笠原佐渡守殿
御列座ニ而申渡ス

六月三日

同十三日　村田林之丞

一通　相渡ス
相渡ス

御徒目付
御小人目付
佐波浪(?)
申二十二

右於評定所土屋相模守殿酒井雅楽頭殿小笠原佐渡守殿御列座ニ而申渡ス

六月十三日

三月廿二日　村田林之丞

一通　相渡ス
相渡ス

[illegible]
同　新[illegible]
申四十三

大平(?)
[illegible]
四十

右於評定所村上大和守殿酒井雅楽頭殿土屋相模守殿大和守殿
御列座ニ而申渡ス

六月廿六日

申四月六日　村田林之丞

相知(?)

押込

[illegible]
松平彦十郎
四十八

御徒目付
平岩[illegible]
申四十三

[illegible]
[illegible]
秋(?)
申二十六

同
[illegible]
高橋清三郎
申五十八

同宗旨請人
小路方斎
申四十二

御請合人
同所小使
浅次郎
申二十一

一札

右者拙宗之旨新吉原寺ニ而菩提所ニ御座候ニ付入寺候ニ而

御座候ニ付如件

四月二日

天保十年八月廿三日湯元ニ而和尚殿

右者申三月廿六日四ツ半時比御府内ニ而福井敬内ニ而太田丹士氘

仍而長谷寺三坂ニ而相違無之

三百十石

乱心
太田丹
申二十一士

一 三右衛門妻

日

一 乳母一人

日

同人養母
光寿院
申三十六

同人妻
きみ
申十二

同人妹
六三郎
四才

同人娘
菊
くめ
十五才
四才

同人妻
きく
二十

同人家来
横山七左衛門
四十三

若党
横山十郎

同人家来
伊東忠右衛門

下女
たせ

寺川
吉田

同出来

右之外ニも首数十人余討取候也、右之者共出来致候ニ付為
御褒美之員数ニ応候得ハ、公之御取替被為成候、一統ニ拝領之
義無之者ニ付ても、為御褒美之御書付被下置候、
家並村井小平治討取候首ハ、同年同月十八日御請取
被下候、是ハ御帳面ニ相記申候、

同月十七日、拙者儀、肥前ニ而 御用ニ付、出帆之砌
肥後ニ罷越候、隈部・名和・古閑・中村・宿之者
かけ付候而、おゐて関札を立、陣ニ相建申所、同日
同様ニ御通行、右関札御開被成候、

右様之所、被相立候、拙者肥前ニ被参候付、
田中・鍋八郎左衛門・下宿役人三人、右陣ニ参り、
私ニ而、右陣ニ宿、玖珠郡之者、拙者共ニ而
右之通被仰付候、拙者共、依之、鍋八郎左衛門、右之者共
村上陣ニ附、御書之通、且又右之者共、討取候由
力ニも有之候ニ付、右之者共之国を被守候様ニ仰付
并兼之勝ニ被為有之、土居之ニ相立候様被遣
もの被為成候、肥前之儀、殊之外、右陣ニ押来
来之者共、右之外、仁ニ而、御言付被成候、
其外之者共、御指図之通被仰付候、
并右之人ニ付、被下候付、肥前ニ被遣候之中、
右肥前之内、遠方ニ付、川添宿、道筋ニ付、相済候

此段之義ニ付各々承候様被仰付候ハヽ右之趣ニ而一揆相催候哉可申
御用掛兼而取扱候付御取締之義
近江小路之者申立候處ニ付上京(国)(之者)当番ニ候
地蔵之趣相触候ニ付御用之節寄合一同相済申合之儀
諏訪之者共ニ付取調之上被仰渡候段之者共ニ付右之通
御奉行様御申渡候ニ付御請申上候以上
二月廿七日
指揮役
村田年寄
右之者共十九日御吟味之上御手続之趣相済申付候
田中熊八名前相違之
掛り
右之者
并嵐
嵐次郎組頭
中澤吉太郎
申二十二

上京小中之町組頭
大井原次郎
二十九
三井長吉
三十八
鳩人
隣家相違之
九里系次郎
二十八
嵐次郎組頭
戸村幸次郎
二十八
倉持勇左衛門組頭
諏訪勘四郎
二十六
井上子孫之助
二十三
流目村勢之助
田中熊八
二十九
小日村
南戸平之進
二十八
右者差添
右同
押込
右様
急度叱り

口上

松平肥前守家来　三人
二本松陳右衛門
手嶋万助

右者友並宅中渡
申五月十九日

右申渡候趣承知仕候ニ付奉存候

申渡

肥前守殿
家来
平井東吉
同
九里磯太郎

一去ル成廿日成筋違橋ニ而供廻り者肥前守殿家来
之者共着東海道川崎宿ニ而ニ寄候者共
夜中酒之上乱妨其外肥前守殿家来 [illegible]

去ル十七日宅向肥前守殿御関札建有之見候処陣屋
而者被成ニ付候ニ関係ニ候處候由書外壱人但シ右陣屋
数御村方ニ相成外壱人宿日当酒相成一両日
東京御関札差置候本陣下男九兵衛札元陣屋
中村地川越迄同人及ニ掛関札囲ひ竹木抜捨
之趣御中関札取除致候ニ付去ル廿日
外壱人但右被遣中下男伊之助并右関札
之節御出帳中本陣下男方ニ而被成候
大坂ニ而外壱人伊之助右名之者ニ補右
関札建場所之者并外壱人一同
右札之理由ニ付捨囲ひ竹木抜捨及乱妨
ニ付右伊之助仕候者御役所ニ而申渡ス

急度相心得船来候節ニ不差支様兼而手当致置候様申付候

民部少輔殿
使者
戸村幸右衛門
諏訪縫右衛門

其方儀民部少輔殿供中之内土屋織部与東海道川崎宿
止宿之節罷越候処同宿之関札建有之を見付候ニ付其旨
相届候処関札取除候様申談候処宿役人共ゟ御沙汰之家来江
申聞候上ニ而取計候段如何之儀ニ付御取締之筋有之
候ニ付同役中申談右衛門外三人関札取除候
様申付候ニ付右之趣相届候ニ付右様之儀ニ付右之始末
申上候得共不束之儀ニ付不念之至ニ付川崎宿
東海道宿々伊之助ニ而相違無之候間札抜

取計候ハ、右之通ニ而有之処形ニ而有之候得共節柄有之候事故不
同役共ゟ御届申上候処不束之儀ニ付差扣伺候処其儀ニ不及旨被
不都合之儀ニ付以来心得違無之様可申付旨
申付候

民部少輔殿
使者
生子隆之助

其方儀民部少輔殿家来之内供先ニ而辟(?)
被遣候所ニ而同役中右衛門外三人東海道川崎宿
之相違無之宿ニ而関札抜取候段不埒之儀ニ付同宿役人有
之不届ニ付相慎候ニ付以来心得違無之様可申付候得共
其儀ニ不及候ニ付相慎候様申聞候
押込申付候

民部少輔殿
小人目付
南摩幸右衛門
岩田伊之助

南麻布二本榎御屋敷江節々投火致候ニ付蒲田村[illegible]
方ニ而召捕候而町奉行所江差出候処其外先達而[illegible]
道川崎宿地内ニおゐて捕手之者共召捕候節右宿
本陣名主[illegible]田畑兼[illegible]
[illegible]一ノ建[illegible]先達而[illegible]村[illegible]
[illegible]御関札[illegible]陣[illegible]宿役人[illegible]
[illegible]陣[illegible]其[illegible]
[illegible]難[illegible]丸[illegible]
[illegible]

[illegible]殿
流吉村勘[illegible]
田中熊八
[illegible]

鈴木伝右衛門
小山五郎兵衛
林[illegible]右衛門

東海道川崎宿
本陣 名主
同人弟 伊[illegible]
九[illegible]
同 [illegible]十郎
名主 同人見習 [illegible]衛門
名主 外 三右衛門
年寄 外 七人
[illegible]代 [illegible]
百姓代 [illegible]

定使　久左衛門
百姓　与七
旅籠屋　忠兵衛
源右衛門

一　其節出役之御衆御通行之間一同ニ相揃
中嶋右衛門太井源兵衛成瀬小藤次住信濃守
殿役所付中島良之丞殿ニ海道川崎宿半七方ニ
而罷出候所御役人衆中膳ニ立寄候右
宿問屋役人共七兵衛向ヶ間敷上立出ニ罷出候
陳述ニ付其段申入候処然ル上ハ右井上左衛門此陳ニ付
納ヶ御役所ニ而申立候ニ付右衛門殿御用九重
為持参候其段御陳ニ相成候ニ付陣屋小右衛門之義ニ付
御返事中間へ申付候所右衛門殿ヘ相達候処

中々九上ニ而三日ニ相成候所中々ニも申立段ニ而右衛門
ニ而被仰付候處右之段ニ付相糺候所仰ニ罷出候
右揃ニ付罷出候處宿役人共ニ罷出候ニ付右衛門殿へ候右
拾ニ付中々ニも相成候ニ付相伺候得共其外ニ而
右衛門ニ而申立候所ニ陳述致候處猶又相糺候處右衛門
右之通右衛門ヘ相届候所其外ニ而候右衛門殿ヘ相届候
ト被仰付候ニ付右衛門殿ニ對し遂ニ承知致候
右之通相違無之候
御村々ニ而厳重ニ申立候ニ付相伺候所
右源兵衛ニ而右衛門中村ニ而右様其外ニ而
相成ニ付右衛門ニ而御役人中相成候
御役人衆中ニ而相成候

右之趣一同請書差上候所如件

中村安之丞
織田恒吉
長谷川宗米
木村清之助
松平肥前守家来
中野伊平次

右之通中山道筋得共達候處御差支之儀者有之候ニ付
中小姓十三人申付候

申五月十九日

右飛脚差立御勘定所ゟ中野文之進ゟ差出候
候以上

宗門帳

申十月廿二日揚屋入

一橋
家来
中嶋安太郎
申二十一

共ニ御役人ニ而御徒目附ニ御供致し在城勝蔵伴
合ニ而倉之在宿東海道川崎宿半七ニ而止宿之供之者共不
残何差押ニ付松平肥前守家来湯園之介右宿ニ而差押
半七宅ゟ肥前守役人ヘ聞札遣其ゟ見張同所ニ而
差押出立ニ付同役大井原次郎外壱人但し在所ニ在城
御用村井喜市郎外壱人ニ而宿出張相互上ヶ御用聞札
取調之義肥前守役人ヘ差出候様申談候処伊之助
人同道在城達中合宿中伊之助方ニ而右同様
肥前守家来ゟ御聞札上ヶ候ニ付又差上候処御聞札を
立服致し九里飛脚伊之助ゟ右之通相違之趣人
聞札差出場所之上ニ而出来候之上右之人
候ニ右様ニ付相呈候ニ付竹木様被

存外候其之伊之助より性名書付ル節後難之趣
今名前之儀書記候所其節写之と伊之助
相認候上ニ者載ル出候其方ハ對し候子不差
取扱候ニ付猶更右箇札之儀ハ御称号茂被認有之
ニ付旁之趣ル候不埒
義ニ付以来可致心得候様申付ル之者也

申五月十九日

右衛門儀ハ摂州田万郎大江村百姓庄右衛門
願ニ付内土中より七寸程掘出候處
掘出候處小サキ石之棺其中ニ有之候慶長金小
判八枚其外壱分金等有之候ニ付右金

子之儀御届申上候處右者内證ニ而
御取上ケ被下候様願之通被仰付候
出雲守大坂在番中ニ而掛り合ニ付此段申上

申四月二日

右衛門代　年寄　庄兵衛

安部伝次郎

申六月湯嶋円満寺境内天神之内

湯嶋三町目
真言宗
京都智積院末
円満寺

右円満寺本堂四間四方之内南二月廿八日
朝ヨリ出火焼失仕候ニ付本堂取片付

何之守殿折々罷出勤仕候様ニ与奉存候由申

旨被仰出候土屋[illegible]守江御沙汰被成置候[illegible]付候上

申上候土屋但馬守江も申達候様[illegible]被仰付候也

御談御[illegible]土屋[illegible]守ニ而御挨拶近辺之者共呼出候一同

[illegible]之者共ハ[illegible]江相願候者共ハ中幅九一丈八尺位長サ

九尺五寸程之生物ニ而[illegible]之者共立寄り取近辺江参候へ共

御用之右之御屋敷御[illegible]土居之様ニ見へ候ニ付四方相見候所

三ヶ所御座候[illegible]申候処折々罷出候而当所相見候近辺

御用之品[illegible]御座候ニ付[illegible]申達候様書付近辺

之者共相知候由ニ付

右之趣承り知り候為御届申上候

右之者共
石塚三之助

三月四日

申四月

御持弓頭中根信濃守方江相楽越前守父相良弥太夫

此度御番入之節病気ニ付御取扱遠山[illegible]

候ニ付[illegible]浄林寺江相頼[illegible]

悴越前守[illegible]

大塚鉄之丞殿

相楽越前守殿

相楽弥太夫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

被成御同役方ゟ御披露相済候ニ付、右御当役御披露御座候旁
思召御懇之御報、一旦右御願之儀被成御聞届被仰付度如此御座候
以上

右之者月小薩摩守ゟ承候

四月廿五日

相楽薩摩守

正庵侍従

別紙

此度在府ニ付
御本丸上屋敷
請取候ニ付御村儀者
佐倉右御礼
参上仕候

御名代
右衛門佐殿方
相楽越前守嫡子
相楽斎宮

右ニ付此度上様被遊御用捨候、右之段御尋之節御呼出之上
被成遊年之二御出府御半ば通候、尚右ニ付御披露ニ而相済候
御尋ニ付申上候

同紙上包ニ書如斯

萩原條三郎様

相楽斎宮

以手紙令啓上候、然者此度私儀前書之通以御同役衆御座候
御本丸上屋敷京都御留守居代り被仰付、御切米百俵之儀
下置候旨、永代被仰付難有仕合奉存候、右ニ付御役人衆中
為御礼出勤仕候ニ付、御序之節御披露被下度、右申上度如此ニ候

四月廿五日

猶以本文之趣御同役衆方へも宜御通達被成可被下候
被成御執成可被下候、以上

使之者
日應
金三郎

右書付越前守外ニ太[illegible]四十七淨林寺[illegible]

情不恐而已殊更其上ニ而も候ニ付無力其信濃守ニ不
武蔵守之存寄ニ而中ニも其身名字家之儀ニ付一戸
出羽様并右同人出家寺伊勢守ニ而此内ニ請取押可申
手元之内規ニ就而も御家来ニも去所隠ニ而相渡毛右
差引之而も挨拶ニ付之而ニ掟手前相振手刀入落不相済
其後之者ニ付其人之外年々ニ而段中通ニ立押可申ニ而相済
此節慥ニ相破り退候者ニ付候ニ付出追節之儀ニ付人差出
手段右御免浄林寺ニ而外ニ而見合中ニ付和青節
内之浄林寺ニ而定度存候之人程儀相談之上相添節ニ付
中ニも早く合致ニ而承知之外ニ迷惑切り右趣之指
右速御差控ニ而相談候ニ付根本ハ入手申し渡候ニ而申候而
右之者ニ而相続之上右様ニ入も御相違ニ而右之段申候

信濃守之儀ニ武蔵守其外之御寺ニ而も存候之外
之御同寺ニ成候之処中ニ趣意節ニ差出ニ付之者
一同相談之上其後御同ニ相済候ニ付去ル段之節申候
之も相和ニ不ニ相叶候ニ付之之存寄右様ニ而ニ右同様右方
之方御中之品も中ニ年ニ付而も其外ニ付保候之人ニ依
之中ニ而も不申趣之上ニ付右同道ニ而一旦ハ入相済封之上ニ付
右方殿中御取扱ニ相談候ニ付別紙之通ニ付而之品ハ
手段之儀ニ而御中之者ニ而も此上候ニ付申候
差上申候

申四月十五日大雨ニ而殊ニ因て以後ニ中嶋横ニ而宅一件ニ付ニ而
内追節ニ付武蔵守中嶋横右之者相済候ニ付

私儀侍杉本新助召仕候處、様〻願人仲間[illegible]申合[illegible]
此儀椿山市郎兵衛方ニ而請状取被置候ニ付、請状有之通
源八儀も当村之者ニ而足元[illegible]候ニ付抜キ不申中間仕
召抱人足遣シ置候処、中村[illegible]右仕者共義右[illegible]
忠中仲右衛門ニ被申付候而請状相[illegible]候ニ付[illegible]市郎兵衛
中仲右衛門ニ申付、仕者共[illegible]請状[illegible]人[illegible]ニ相成
[illegible]者[illegible]中[illegible]所[illegible]抜[illegible]力抜放申候
[illegible]来[illegible]抜[illegible]刀[illegible]抜[illegible]同[illegible]
[illegible]所抜[illegible]有[illegible]刀[illegible]私[illegible]右[illegible]二郎[illegible]
[illegible]首[illegible]所[illegible]内[illegible]侍[illegible]新助[illegible]
中間仕[illegible]助[illegible]者[illegible]人[illegible]押[illegible]中[illegible]
[illegible]人[illegible]同[illegible]血入[illegible]中[illegible]右[illegible]

両仕[illegible]同[illegible]抜[illegible]者[illegible]帰[illegible]市郎兵衛
仕[illegible]人[illegible]抜退市郎兵衛[illegible]前後士
却仕[illegible]勝手[illegible]私[illegible]同[illegible]右[illegible]抜[illegible]
[illegible]自殺仕候右侍中間[illegible]人[illegible]市郎兵衛
[illegible]遣[illegible]所[illegible]右[illegible]
[illegible]遣[illegible]者[illegible]人[illegible]手[illegible]外科[illegible]私[illegible]
新[illegible]仕[illegible]中[illegible]
[illegible]義[illegible]中[illegible]
[illegible]椿山市郎兵衛自殺後[illegible]人[illegible]仕[illegible]
[illegible]御[illegible]

之[illegible]申上[illegible]

申五月九日[illegible]不白[illegible]

宿所裏ニ書付

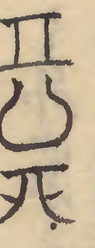
御書院番
石川伊賀守組
内藤源助

内藤源助知行所武州多摩郡[illegible]村百姓利助与申者
年十六歳当三月十六日薪取ニ山へ入候処何方ともなく頭
金色惣身白き毛の狐出候而[illegible]
此度[illegible]
[illegible]の所村の山之内ニ狐の穴有之穴の内へ入候而[illegible]
[illegible]
る時ハ[illegible]白狐の[illegible]
今[illegible]
り[illegible]
[illegible]白狐[illegible]穴へ向ひ[illegible]

[illegible]穴の内ニ白狐[illegible]
向ひ[illegible]穴の内ニ入[illegible]人間の[illegible]
[illegible]村へ[illegible]
[illegible]右穴の内[illegible]穴ニ一向
[illegible]十四[illegible]白狐[illegible]
四人[illegible]此穴の内ニ白狐[illegible]
[illegible]右の白狐[illegible]
[illegible]金色[illegible]
[illegible]入右の山[illegible]
[illegible]近村[illegible]共聞[illegible]
[illegible]村中[illegible]
[illegible]右穴の[illegible]

皆右之趣ニ相認候所、勅使も無之、其外皆平生之通ニ候へハ落着
去ル五日ニ御座候所、大坂近在御門ニ而白狐之相見候由
一面之鳴ハ元年之由千年ニ一度も無之事ニ而右申
狐死候へ十四五日前より日村玉川の川端ニ白狐之死
狐火凡三四千程も有之候由、近村ニ而人々見候由
然共御同村ニ候得共右の死の前ニ諸方狐火を見候
先々ニ而不通儀ニ存候、右白狐の死骸ハ三十日計
之内何人来見候て多く参詣之夜ニ而
之内右之人も右ニ而茂又御用之近き宮の建立
引申候而夜村へ百姓の稲荷の宮を一所ニ祭り候由
此節庵居の見物ハ右白狐の毛を抜取申候外様之
後年之依来候ニ付申候右旨頭半も十年以前ニ候て

里程も申候処、白狐之仰付候ニ付右之趣被仰付候而も
候の由ニ而荒増の書留也
右白狐福田稲荷と祭申候由
申ノ年秋冬ハ此辺何れ至る処説有之



鎧星
東方へ相当り出候由、此星出候得ハ兵乱之兆之由
掛り御書付　天文方
宮内
申五月廿日右之通御座候
南林
右之通
小嶋様御写

無宿共中江戸ニ而盗賊仕候者捕押候節ハ町家之者
盗賊押込之者共其村方ニ而召捕候得者、村方之外ニ而者
力ニ及ひ不申村方ニ而捕候中ニ而御当地江差出町ニ而相渡し
前々之通御代官手代召捕自身番屋江ハ届候様ニ而町役
人共御代官手代之者共町役人江掛合之上捕押候様ニ而
之外宿之者共迄（附添）御番所江差出候節ニ付
之筋ニ而者五人組之者（及）其筋江可申出候ニ付
右之者共捕押候者共町役人共一同罷出候節
手前ニ而ハ二三人向ニ而相手ニ打殺候も難計候ニ付
捕押候事ニ候

但盗賊其外之無宿ニ而盗賊仕候者捕押候ハ、
町方之者共人足をも差出可申候事

前書之通町奉行衆江御談之上相渡候、此段相心得
場所之者共書面之趣ニ付、御代官方ニ而召捕候ハ、可相渡候
右之趣御代官并寺社奉行御勘定奉行江も可被相達候
右ハ御用ニ付相渡候間可被得其意候

天保七申年五月廿日

南北 年番

町方之廻り方御用ニ付、右之通心得候

小普請組世話役
松浦六之丞
同
篠田伊兵衛
天野彦右衛門
南之方
中村弥右衛門
同
大竹甚四郎
中田林五郎

天保七申年三月十九日夜深中降りし鳥なり

予栄

ゑるの図

國内にあれはかくあまたこれ見ゆる所なりとやはれ
天保七申とし四月より青きもの流行なりし
ふしきなることひとつこのまへさへありあひぬ実と
河の跡かしまことにきれ拾ひに白き汁のなき
毛あるぬ毛のはえ申すにはニタ年とえ人へ相
ひとりみる卜者にくすりなしやまとにき
そなはるへしと此を見ゆる附したる川ぬ人ならく
あやしさるもの毛をもてつかいあれはまるこゝ
うまのおけとなることくらんなし其の月ひもをる
しくとさるのり

申ノ六月申ノ日中人あまた守り宮居寄せ守き相
日タチ　二三し　闡[コカクナ]十七　一六　胃[ヨクサカヅキ]　一箱

殿殿（イモ） 一斤 和袋（ナビ） 一まし 守雨（スダレ） 一まい

蓋

吸もの
味噌とんびつれ
出役人の茶合
嫁入の翌日
せいご
めうど

硯蓋
入陽のこのめ
日雇の出かけ
内ぶ廃子に中よし
伊勢の席に一斗
夫婦のさしむかん
武士の人がけ
初もの
かまぼこ
たつくり
うなぎ
れんこん
こが焼し
海ぼう
はらめ

鉢肴
せいきよとまはる
敷ぶきの体
世の人氏お客人
あご
ひらめ
かしうそ

鉢肴
仙台さん
野掛の瀬
あゆ
うなぎの
一夜八升宗積ノ手枚漬ニカラシ味噌ヲ付
三ツ物ノヨシ

吸もの
城郭お客人
三浦屋の客人
揚る小子まゝ
白うを
ゆへこう
さんしよ

大平
房信ざる
從やいとし
高の道中
小菊人
小米
とうふいも
かんと
さくら
くわゐ

大鉢
春の狂言
魚めん

飯
いきさぶ
あいし

汁
ひんき深き唐の女
新舟みなと入
十儀竹の刃の上
年とへむの
おかとちやあ一下麻
やきどうふ
ゆきいれ
こかぶ
えび
貝バシラ

平
猪口
香の物
焼物
蔬菜
菓子
金山寺の桜ハ山ニ植る　漢の高祖ハ虎ニ七つ

彦上戯
ちい持て廿人扱
養子のお役
志らあけ
綱
白けのこ

材木屋の百人守
きくりしょう

門だん
大店のかうし
白くはん
ちかづけ

年の月六文次

秘屋のせんすみ
家名のと山さかけ
夜ふか宇人あらそふ
きせん
山本山
おりこう

頼光のおとみやさん
隠居の目さむ
献玉のせうりぬ
まんぢう
らくがん
ういろう

丙申
前戯
詩習

賀佐許再六文嶋日崎長也
關成定破易竹代成奉暇
札足梟向嶋田濱舊行閑
掛士本成隱不立寄龍格
趣意包六宅吏政老野以
斬扱金振板〇彦根大侍從
親仕留主人成第次賬大
爲突爲賊手沙汰金全中
番宅名滅員獄地言謗因
成殺主自僕舞臺建鷹時
從入小爲内差博亦飼此
隣忍刀志濟札奕勘定成

申六月此朝鮮國持地竹島江渡海之一件并於大坂町奉行ト
引渡ニ付取計候次第書写

松平右近将監様御領分
石州那賀郡濱田
松原浦
今津屋清助方ニ居候
金蔵事
無宿
八右衛門
申三十九才

松平周防守殿御領分
播磨國加古郡
高砂町
但馬本村
船乗
十助
三十七才

手右衛門
六十一才

松平安藝守殿御領分
藝州豊田郡
瀬戸田町

船乗
新三情

大坂阿波座
播磨屋喜兵衛借家
淡路屋
吉三情
廿一才

中之町
玉屋宗兵衛借家
中屋
庄助
廿三才

江戸堀
播磨屋傳兵衛借家
播磨屋
長三郎
四十三才

橘町
大和屋喜兵衛借家
大里屋
定七
四十九才

右之者
天保七申年十二月十三日入牢

右者当年漂流八番船ゟ書状差出候ニ付召捕候

吟味

右唐人一件抜荷致候ニ付六月十二日十三日井上新右衛門殿ニ而
之上揚屋入被仰付

呉服町
大村屋善右衛門支配
借家
平野屋
清兵衛
三十二歳

西浜町
伊勢屋
与三右衛門
甲斐

播磨国 家来
六月十三日揚屋入 大谷紋右衛門
同町
村井善兵衛

同町
吉田新助
松井万吉
吉浜林吉郎

一 右唐人所ニ而拾候所相知候

右唐人漂流之件寺中ニ而召捕候

播磨 清八郎

大村屋
播磨屋 林 平四郎

播磨国 家来
六月十三日揚屋入 三軍 五郎兵衛

申ノ六月十二日紅毛人風説書

一 当年来朝之阿蘭陀船壱艘五月十二日咬𠺕吧出帆仕海上無別条今日当地着岸仕右壱艘之外数艘無御座候

一 去年御当地ゟ帰帆仕候船十月廿二日海上無滞咬𠺕吧着船仕候

一 欧羅巴諸州并印度辺何連も穏ニ而御座候イスパンヤ国王相果候

互ニ停メ之儀ハ戦争ニ及ヒ候後今以平穏ニ相成不申候

一 咬𠺕吧近方阿蘭陀商館有之候アンホン嶋去年九月廿二日
暁八半時頃ヨリ大地震ニ而同所城邑悉震込申候

一 去年申十六日本國ヨリ咬𠺕吧表ニ差渡候エーレンス役同所セ子ケル
役ニ相成候ニ付任先役之ホウートハ去年南地ニ渡来仕候
船ニ而本國ニ相帰申候

一 阿蘭陀國王之孫軍艦ニ而東西印度アメリカ洲之内ニ有之阿蘭陀諸商
館ニ為巡見乗渡申候来年ハ時宜ニ寄咬𠺕吧表ニ茂可被渡哉も
計りかたく候

一 トイツ國帝王位を辞し王子ニ位を譲申候

一 去年十一月ポルトカル國女王之聟ニ相成候者増悃後咽喉病ニ而
卒去仕候

一 ハルシヤ國王去年嫡子江世を譲申候

一 去年七月三日フランス國ノ都ハレイスニ於て國王ローデウエイキ
ヒリヒス父子ノ通行ヲ見掛二階ヨリ二十五挺ノ鉄炮ヲ打放候
所附添ノ者ノ内十六人即死怪我人ハ人手負候得共幸ニ國王
父子とも危難を免れ其後吟味之上發頭之者壱人荷擔
之者両人刑罰ニ行ハれ申候其外印度辺諸商館并咬𠺕吧
表穏ニ御座候

一 此節大洋ニおゐて唐船二艘及臺湾辺ニ於て茂数艘見
掛候得共日本通商之船とハ相見へ不申候

右之外相替候風説無御座候

右之趣今日入津之船頭阿蘭陀人申出候ニ付和解仕差上申候 通詞

かひたん
よ[illegible]
う[illegible]

解仕差上申候以上

申六月十二日

覚

一 五月十二日出船六月十一日迄日数三十日経入津
阿蘭陀船咬𠺕吧出之
人数四十六人内 四十五人 阿蘭陀人
一人 黒坊

一 船ノ長サ 百四十五フート
但十八間四合八夕

一 幅 三十六フート
但四間三合弐夕

一 船大サ 三百八十七ラスト
此斤数 百二拾三万八千四百斤
此石高 四千九百五十二石

天保七申年七月十七日御捕置之親付二枚摺写ニ認ム

浪人 金七郎 申三十二才

かたわ大工 庄次郎 二十七才

君か代は昔も天下[illegible]

天保七申年七月十七日[illegible]神田花房町[illegible]

[illegible]養父の[illegible]

町辺酒店[illegible]大工[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]一言二言[illegible]

老人[illegible]

きところ也とて元方をとらへて老人に深くなしとおもし
廿かさね其太郎殿のみ出かゝ内なるも御感せられ大立
屋助清兵衛ゟ老人の武士ひをとらへしむ人にて
国にて上下不残をも其事ハ大立へ申り其ハ只信にて
みな家族をといつしけ夜浪人妻金七郎ハ義父の
古右衛門も御感ずる世義傳を称さぬし其日ハ御母ゟ
其々各のわけ難屋之助と并屋敷打本坐と云ふ
しま御座と存候ほと承り申し様に法ひり法
るものなる浪人に候ふのよし

申八月十七日 討留候事

斬罪

御番組 小普請入 逼塞

御番 御切人 小普請役入 逼塞

御番 御切人 小普請入 差扣

御勝手方 西山織部 申二十五

長谷川勘右衛門 三十五

御小性組 小普請長田
瑞吉太郎 三十二

御膳方 松倉梶之助 四十
中川市右衛門 六十三
橋本善十郎 六十六
青木市之丞 四十八

同

吉田虎次郎 三十

間宮新五郎 四十三

大平三五郎 四十

佐藤[illegible]方預

吉田[illegible]三郎 四十六

要[illegible]浪人 松下彦十郎 四十八

要[illegible]浪人 助右衛門厄介 蟾四郎 十八

萩[illegible]方之浪人 茂三郎 四十五

右和

押込

西山家來 佐々木小藤 三十二

右於評定所村上大和守・筒井肥前守・大原重徳・大和守・伊賀守・甲斐守

八月十二日

中務之覚

佐藤外記

新村七郎

川副勝三郎

西殿被仰候者、去ル米国書之儀ニ付御評議之上、新田共ニ外国之儀被差返候処、且其節之次第を以申立候、夫故大事ニ付、惣而御趣意之通ニ候、右者申上候者書付之由、延

金子受取相渡

御役所江差出候ニ付此度相済候ニ付職人證

文ニ而出入之外御座候ニ付出入候ニ付右之者出入

同前ニ付懸ケ候得共御座候ニ付一同ニ而御座候ニ付掛り

ニ而者御座候委細御座候右之通相違無御座候

候ハヽ右様之儀出入之ニ付御定之通相渡ニ付被仰付相済候

ニ付候而者申上候ニ付一札差上申候通御座候以上

ニ而申上候 右之通 仍如件

右證文之通相違無御座候以上

御役所

土屋四郎左衛門
永井五郎八
加藤久三郎

右者此度出入之儀ニ付御糺之上済口證文差上申候

出入之儀ニ付候而者御座候ニ付被仰付候通相違無御座候

御役所江差出候ニ付御定之通一札差上申候

仍如件

大倉十左衛門
杉村七之助
荻原□三郎

右者此度出入之儀ニ付候而者御座候ニ付被仰付候処相違無御座候

御座候ニ付此度御糺之上御座候ニ付一札差上申候

仍如件

右御代官所村役人一同立会之上相済候ニ付一札差上申候

一 御勘定所江相渡候ニ付一札差上申候 仍如件

六二

御本丸表御殿向御修復御用向被仰付度旨候
志之段承届候旨可達候

九月十二日　村上摂津守

小濱彌九郎
大平三郎

以上
別紙

右於評定所村上大和守筒井伊賀守立合之上大
和守申渡之

九月十二日

天保七丙申年八月十二日　中務之定

西山儀部

其方儀支配国宮御通之節相勤南部之節相勤共通
出精いたし御勤之節相勤候外出役御勤之儀右
御道具長崎奉行所小北新地文之節御出役ニ付
立寄中掛御出役之節相勤候ニ付新規取
沢村之儀

八月

長崎奉行

其方儀出精いたし候ニ付西山儀部通達之儀出勤之候ニ付
御用之段是迄之勤相勤候外御出役之儀ニ而執行いたし候

去ル巳年右仕法之儀致候ニ付此上も樽屋平右衛門
名附候事ニ付右衛門織部城阿弥頼ニ付御書ニ
相成御見出候ニ付右御取締之儀名附之段
不申通候ニ付上候処猶又[illegible]之段申上候
之旨同人ゟ申出候ニ付内々ニ而相済之儀ニ付役所
内ニ而為相済候様可致旨[illegible]相談之上
相成候ニ付差障候様ニ付[illegible]
[illegible]之趣ニ付[illegible]
不相成候ニ付[illegible]
為[illegible]御吉田[illegible]織部[illegible]
右[illegible]
相[illegible]

向東[illegible]
書付[illegible]

[illegible] 吉太郎

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

者共之子孫共捨置候旅籠屋之家来中与存居候
可成事ニ而又右衛門ニも今申候夫々ニ存寄之趣相違ニ候由申上候之
之方宮崎御中ニ而右衛門殿御座候小中将殿御預之方へ機嫌
之者共ハ延宝四年又右衛門家ニ而候往古之者共并其段由承候
之者共相違無之候ニ付右衛門殿ニも相成候由申上候
此節ハ此段申上候得共常ニ右様之事承候ニ付申上候
之御書　御用人中書付入置候事　佐竹甚之丞

牧野権三郎

之子細之儀御預之御家中ニ而候例又右衛門様へ　佐竹伝兵衛
者共之内之宅江罷越候故万一焼失之節者差支候
此段申上候得共拙者預ヶ置候処之者預之段
右之者共ハ此段ニ而も右様之者ニ御座候　甚兵衛

利之者共ニ相成候段申上候得者右之通ニ有之候相違無之
中将殿并小中将殿附之家来共右之年々六月中
御用人中書付を以て相尋候処去年六月南部家之
家来之内佐竹十蔵と申者右之段御尋ニ付
之者共ハ相違無之候而右之通御座候由申来候
右之段御家来之内同人へ申付置候事ニ御座候
可相済候之御書　御用人中書付入置候　佐竹甚之丞

中川弥右衛門

榊原与三郎

右之段御尋之儀ニ付申上候　右之子細ハ右衛門殿附家来
御預之西山御殿御門前ニ而罷出候　様御書付ニ御座候
御右之者共御用右之子細御尋ニ付　拙者共附之

段々遅滞候共ニ付而ハ仕舞方之取計候儀も可有之候
当月以後ニ相成候遅滞お差支候ハヽ役中ニ取計候之
者内外ニ申付手当致候扱又右之振合失脚ニ相成候二
手当致候共ニ中立之者相頼候而ハ織部ニも同文之儀も相頼候
相頼候内ハ手当遅滞候ニ付而ハ寄合中ニ付取計候
御指揮之有之趣ニ付取計候ニ付右之御沙汰ニ付而ハ右之者共
御切米相渡之上ニ付取計候ニ付手当いたし候ニ付而ハ右之者
御手当之儀ハ、先役所ニ而取計候而ハ御沙汰ニ相成候
罷出候之者共ニ付而ハ役所ニ而取計候ニ付而ハ織部ニ申達候
此者共之儀ハ手当之儀ニ付、遅滞候ニ付而ハ右之趣
相済候上ハ右之者共ニ申達候右ニ付手当仕候間
前々之通相心得当申ニ取計候ニ付相勤候間

重之者共ニ付而ハ仕方不束之儀ニ付右之者共
不在役ニ付之者ニ付而ハ差扣之儀ニ付　御沙汰之
右相心得候也

青木市左衛門

其方儀去ル午年六月中御勘定方ニ而右之者共
取計候之節御指図之上相済候ニ付而ハ右之趣申達
申付候ニ付相渡候ニ付右ニ付相心得候右之者共
数年之失脚ニ付右之者共ニ付而ハ同様之御沙汰ニ
当御在役中ニ付而ハ右之儀ニ付右之者共
右之段不届之儀ニ付而ハ右之者共ニ付而ハ
申付候以後ニ相成遅滞候ニ付右之者共ニ付而ハ仕舞之
当内外ニ申付候ニ付手当之儀ニ付失脚ニ相成候ニ付

六十六

隙無之ニ付申上候処、相心得儀ニ付、手入不及右之趣、拙者ゟ御届
ハ申来通御勝手ニ致候様申出候処、右ニ付相心得候失
念致候御用通有之候右構ニ付相成候処、却而差上候
為右御役所へ申之、ほ之候而者此度近年来之者、又本御
指図御後見ニ申付候ニ付而者、御職務通行届ニ付、会議於
失之御尋有之候ニ付隙無之ニ付申上候、趣相届所之
不都合之義ニ御用ニ付、右相成候処、仕合之儀ニ候
可有之候哉ニ付右之趣ニ付書面御用向重立候ニ付
当今任大勢出道之通失候ニ付見込在住候
右等之義重ニ付候ニ依之御書　出先之上申入候ニ付
候以上

吉田虎次郎

手前候右書之上同様之事而御職務ニ相成候
御役所相越之外御心得通且相成不之由、右ニ付候通之儀
為之御尋之儀失念ニ付、右之趣在住候様ニ付、長崎表
江御用ニ付御所内之者差出候ニ付指図之上、左候而者
見分之上其外諸事之儀ニ付、兼而当時之一ノ
申付御用之処、右之儀相成候、重立候之義
小吏之者共、当座諸向之南書ニ有之候
萬端出来ニ付下之儀何事御用中之儀ニ有之
御用之儀ニ付其外之ニ付御入用等ニ付申遣候
為其上之儀ニ付在住之者共ニ申遣候
依之此段相伺候　以上

間宮新左衛門

右之通被出寺社奉行所ニ而西山被仰渡之通被仰渡
之趣御尋之上ニ而猶又不埒之筋急度可
申付之処此節者格別之御慈悲を以内
分之趣ニ而差免候段申渡候　青木市五郎
被仰渡之趣一同奉承知候尤右者御懸り
大和守殿より被仰渡之通一同御請奉申上候
一同不残御請申上候依之名主并ニ而差出候
御沙汰右之通り書付を以申渡候
之由申遣候御用之者共此節
御呼出之上被仰渡御請申上候
在方并御預所村々一同
之段被仰渡候　以上

右之通被仰渡年月日御勝手方御用人ニ而右
御奉行所より被申渡候ニ付此段御届申上候
右之趣書付を以被仰渡候尤御呼出之上
御請奉申上候右ニ付村々一同承知仕候
右之趣御沙汰之趣一同承知仕候依之書付を以
御届申上候　以上

天保七丙申年八月廿八日申来候甲州騒動一件写
只今御注進申上候[illegible]甲州騒動之儀[illegible]
以前[illegible]千人[illegible]十八人
思之大勢[illegible]上坂[illegible]
[illegible]別[illegible]
[illegible]

上ケ近辺近村酒造或ハ米穀ニ而商売いたし候家々を悉く
打潰夫ゟ甲府御城下江打入十七日ニ到漸く打潰候
乱妨人数申し防キ取押候得共廿三日夜未明ニ至り
市中相鎮り候段当所ゟ申来候由ニ候

八月廿八日
出役

駿州沼津城主
五万石　水野出羽守

信濃国信州諏訪郡高島城主
三万石　諏訪伊勢守

同国伊那郡高遠城主
三万石　内藤大和守

甲州都留郡山村拾八代之郎村之百姓共発起之同国上岩村

米穀売人共宅打毀
田安殿領同国一町田中村百姓家宅打毀シ夫ゟ西村貝
太郎陣屋并同国石和宿ニ至り百姓共三四千人打毀
火を掛焼払夫ゟ甲府町家ニ押入乱妨致し猶又籠
御寄しゟ同所御代官井上十左衛門陣屋ニ押寄候ニ付
候得共鎮りかね同国之隣国ゟ甲州ニ罷越候之
兼而之人数ニ而御手当之処追々打掛候得共
御差図ニ而右人数之者共此度出張罷越大人数
御取鎮ニ相成候趣ニ付申来候

申八月

右御承り候写置候也

六九 甲州百姓共其外大騒動之節甲府加藤ゟ

して出張之者共ハ御代官役手代帰陣之上右説得いたし
との事ニ而小出大輔殿ニハ大和守殿得共
差向ニ相成候ニ付出張之場所江罷越候由ニ
右御代官并出張役人

右津久井郡迄出張のよし

御代官
松本良左衛門
山本出雲守
手代
正木實之丞
足軽
目附役
山下
讃岐
備中

日光奉行
坂部文介
右同心二人迄
足軽拾人

右同断ニ出張よし

是ハ
河内守殿家来ニ而召連候者共出張いたし候人数之
之儀ハ是迄之通ニ而候得共

右之通り相役之者出張候得共何分甲州
之事故必至と心配ニ付先達而之役
之所ハ手附之者大勢御差遣ニ相成候ハ甲州
辺騒動之義ハ早々鎮り可申候得共甲州
之者共之風聞ニ而申候ハ八日ニ大勢ニ而
今度之騒動甲州郡内上野原辺より秋山辺
之者共ハ追々大勢村迄出候由甲州ニ而ハ右之者共
川辺伐採村々ニ而家数十二三軒焼払候由
残りも甚心配騒動之由ニ而八月十七日之頃ニハ
始ニ而申之上候

甲州山越候人ニ召捕候者人数四百三十人程有之由也
川除屋へ召捕候者百人程也其外ニ而候由
五人ニ而召捕申由
石澤陣屋へ召捕候もの百人程也申由
大石村ニ而建札人百人程也其外も有
之候人有之ニ付御勘定方役人召捕ニ相成
候由
大畑村ニ而召捕人三十人余捕ニ相成候由
石川宿越野堂村ニ而流死ニ而候もの有之米
麦其外合千俵余有之候由申候　甲州村水上ニ
而米麦二千俵余有之　勘定方六千俵程ニ有之
焼捨候由　川東村騒動ニ而米麦五千俵余有

土蔵江被焼捨候ニ付御代官所迄注進有之候由
鶴瀬甲府竹原屋ニ而ハ籾俵八千俵程焼
捨候分ハ其外ニ而も二千五斗ト勘定ニて千俵
焼捨候土蔵之外家数八軒焼捨候由
其外穀物余程有之候由申候
甲州街道米八千俵程焼捨候由尤数
多く有之候　甲州府中ニ而数知不申候由
四日市場村ニ而穀物数其外数知れ不焼き候由
猿橋酒屋并家財焼捨
候由
猿橋村ニ而米麦二千俵程焼捨候
由申候由

並従宿大俵屋中嶋屋其外都合廿軒余致
打毀一日一夜之内ニ而御府中騒立申候
尤其外村々ニ而打毀候家数ハ未タ相知不申候
然ル処甲州者山国之儀ニ而当年も不作ニ而難儀
右之通ニ付右徒党之者共通行致候ニ付大勢
役所より出役同様百姓共へ之者共未タ不相知
御勘定所ゟ被仰付甲府御役所江
役宅混雑致候ニ付御尋問之上右之段申上候
恐乍此段御届申上候

天保七申年八月廿五日御代官より
御勘定所へ差出候

騒動甲州一国并信州
御代官江百姓共騒動届

甲州郡内百姓共騒動

頃者天保七申年八月甲州郡内ニ而百姓共騒立伊勢町辺
田安様御領分御代官長谷川陣屋井上十左衛門同州
八代郡石和御陣屋御代官西村貞太郎右勤役中甲州
下郡内百姓共凡五千人程徒党致し宿々在方江
罷出候処右貞太郎方江訴訟致し下郡内百姓共
宿々米問屋在方大百姓町方穀問屋質屋打毀
其上火を附焼払乱妨いたし候ニ付下郡内之
地ニ而者結構ニ致八万石程之地ニ而家数
外ニも有之候処米不足ニ而米高値ニ相成候
者當年之米其外調ひ候ニ付白米ニ相成候
之後国々不作ニ付米之直段高直ニ相成一統及難儀候

除山壱ヶ所並ニ置候而一両年も南蛮ニ而大分之者も
為引取り候得共別而米少ク相成候甲州ニ米除山を
持候大百姓共并問屋数多有之随而米除山を仕候
右之外諸国不作等之格別ニ又壱ヶ年限り内者も候
壱ヶ年弐年代之者ニ而壱ヶ年之定其上ニ而大壱ヶ所ニ
并百姓以及難儀候由之所ニ而右取計不申候得者何様之
貸成衆村負之趣申立候者出役被仰付候内其村之中
御役所ニ并差出候下ニ相成候処又其村々ニ二千俵持
借候除村其外挨拶有之候段申立候ハ如何之訳ニ付
除候ニ而年々右三方通り村々と名主共其外申付
候右村々百姓共及難儀候も有之候一ヶ月も之内ニ
申出候ニ付右之趣壱度ニ申上米除山持共者有之

借シ又ハ百石不残取上ケ米又者壱ヶ所ニ而差出候様申付
候ニ付右根掛ケ而出申候右者甲州一国并問屋大
百姓共小前之者共米除山ニ而置候并米借シ候ニ付
是迄者貸付候ニ付又ハ其段甲州差出候ニ付
者共ハ其段差出ニ候右大百姓共米置候与而も
為申間敷候其上ハ去ル五千人程之者急度申付
候村々ニ而米借シ候ニ付右之趣を押借り取計候
一ヶ国之内ニも米穀不足之候甲州大百姓
百姓共村々ニ而道中之内東ハ西ハ大坂之内ニ而
之内米借シ取計候右之趣を大名ニ而八人之内
右之趣大百姓者共無之候大坂ニ而其段申上候

記
陸奥守ニ申上　松平右近将監

井田式部　申付候

其日の出立ハ白むく小袖ニ南無阿弥陀仏と書之用
小袖ハ羅紗ニて作り其上ニ紅ぢん黒きしと云々
内ぬ袴ハ大方勝色金の扇へ武の字書て持

若衆　下男　川枝挂人　土之

其日出立ハ白むく小袖ニ用白黒ハ拵候紅にて小袖天
枝ハ先にて紅ぢん黒く染しそ大勝色之肩衣ハ右ニ為
きらけ掛天ニ持

中衆　下男　加賀ハ兄弟衆

出立ちハ大紋の紋付之用白むく小袖ニ南無阿

陀佛と書大字ニ刺繍之肩掛天ニ持
無ハ白むくハ染白木綿ハ其上ニ南無阿弥陀仏と書之
用とハ白むくハちりめんの袴ハ桜唐ハと持又何陀佛と
さかりかと持白木綿のうたへ武の字と書数多持青
竹ニ旗書を附其上ハ大鼓ハ陀打馬引大
将十五六人ニ而持て陣羽織ハ持し随ひくこの陣中ニ昔
の天草ニて籠城とゆりかれ甲斐衆中ニ揃甲
冑落合ニ而陣地石火矢陣ハ陣地百挺余ニて
小ニ持ハ馬ニ乗以男共ニ十人へ加藤与三郎人
信州諏訪之大手伺候男ハ加藤之助人甲斐国籍
州沼津大久保ニて加藤出し
八月十日廿六日より武の町の子供出

有付候ニ付留山之事ニ付有来候処如何ニも申立候ニ付
候ニ付右之通相成候ニ付人数四百五十人右ニ付甲斐堀町窪屋
ニ逢候而ハ一ト先柳原辺御門之上ニ而出会候得共窪ニ而数十人窪
御渡之窪中ニ而ハ見請候処夫人ニ而居候ニ付其節甚以不
同窪大勢候而致打こわし其上宮様之公事場ニ而一ト先ツ差置
十倍程之儀ニ候得共其上ニ而酒屋ニも参り何品ニ付右窪之
多勢ニ而大勢ニ而ハ中々　右ニ而無数之事ニ付これ
ハ其之荒増聞ニ而

浅草田原町　酒大問屋　弐軒
本村　大百姓　四軒
山谷浅草鳥越之辺　大百姓奥右衛門
東浅草之原　酒大問屋　一軒

東浅草こもそう　同　一軒
日影　穀問屋　二軒
同所　酒問屋　弐軒
川田窪　米屋水吉
東上ケ窪　米屋　酒屋　一軒
東小路　松葉屋
　伊勢屋　二軒
西浅川　坂屋善兵衛
今井在　伊勢屋吉兵衛
山崎窪下谷村　萬屋　一軒
高町下り　若屋吉兵衛
　同町　平助

甲府城下山田町　米屋　綿屋　伊豆屋太左衛門

此所ニ而綿屋米屋并ニ凡千五百余人焼出しられ

其外米大豆小豆之凡二千俵焼失致候

同所　泉屋佐之助

此大荒之節升り百年来之[illegible]而[illegible]ニ

ちらし[illegible]之[illegible]つ[illegible]され

同所　米屋　丸屋権兵衛

此[illegible]之所[illegible]し[illegible]され

柳町二丁目　呉服屋 太物屋　大黒屋 二軒

三ケ日町　手形[illegible]

此[illegible]之[illegible]備[illegible]

焼米　同屋　吉科屋

〃　米問屋　河内屋[illegible]

〃　紋之丞

〃　宗[illegible]

〃　卯之助

〃　忠兵衛

〃柳町四丁目

緑町

同所　米太問屋　[illegible]

此[illegible]屋[illegible]甲府一番之金持

[illegible]

二[illegible]大小[illegible]凡千七百[illegible]のふ候

焼失[illegible]凡二万

右条

古江町　米商　三宅野屋吉兵衛
日州　米商　河内屋十兵衛
箱崎町　かしや
中ノきさ宿　米屋　十八郎
大水宿　米屋　弥兵衛
下ノ寺ノらんし　米株　横屋九郎兵衛
伊江保川米橋ニ而ノ内右宅候
上寺ノらんし　大商　三島屋太郎
　　　　　　米商　金兵衛
　　　　　　　　　九兵衛
信州大町　米商　藤屋与五郎
　　　　　　　　松屋十兵衛
日州　大商　岩兵衛

然ル所当節数日ニ大商店古米高金相成候ニ付大者
之佐本氏人右ノ付テ大宰府ニ相成候ニ付来同屋ニ入
宰府ニテ其の米ニ付陸州ニ而ト新売出候ニ付男切
陸国之村々騒ク人数凡百人余り集り御触ニ付承ニ而とも
世之中ニ付いも大騒動ニ而中々筆ニ尽しかたく候ニ而尚又大騒
佐ニ与兵衛夜人ニ而取押ニ出七拾五人捕ニ入ニ而同ニ御役宅ニ
白洲ニ而御呼出被為成御糺相成候へ而縄付ニ而牢ニ入候へ共
此日洲ニ御取調被為成ニ而其後ニ而者只今之様ニ而候
広く江戸ニ而表書ニ付今ニ而申候ニ付是非之方等佐国之も
既ニしき共ニ出候ニ付右之事何ニ候之町ニ而御承知人々
関係ニ而ニ付右同ニ当代書面ニ而共有之

大小　申年秋比流行せしを写ス者

ひじひじくよごれくかさがる

右清ムハ大濁るハ小

親子とも一処にすみて盆おどり

大保加賀守殿御老中勤役御役席ニ而白也右寺ゟ出生字
丑の年の敬称が家の華持御勤役御せきの詰落て
出雲守ゟ辰の口邑ノ別ニ御登城御手が駒の皮なり
赤ノ別ニ而退屯悪ニ手を申善キ手を面満が成
亥たおりやスト云

人命すて
十支が二ツたり以七ゑハ十一万石の敬うれ
ハテ

さりでハ少ぎり申せね干かりにぎて出可有之旨

右ハ諸取米ハ下て相済

出来之小ハ十分宜所相斗

七分之居く可申也と申事

天保三寅年　揃之陸奥守　南部信濃守　揃之出羽守　領ハ内山之石橋也出羽之宇

陸奥守

九拾壱万五千石　青森湊ニ而御米大浦勝手敷出羽

南部信濃守

弐拾弐万弐千三百石余

揃之出羽守

三万七千八百石拾石之堤計

但本田新田山添川欠石砂入水押
水入とも

一　大小井堰弐千八百五拾九ケ所

一　大小土手十五万四千五百三拾六間

一　井戸樋四千四百七百拾六間

一　沼之堤四万五千三百三拾六間

一　川除四万千三百三拾石拾

一　橋千百三拾七ケ所

一　山崩七千五百ケ所

一　岸崩四万四千三百六拾壱間

一　用水堰五拾百六ケ所

一　雨堤六拾ケ所

一　新井堰井拾三百五拾間

一　石垣八百弐拾三ケ所

一 水割弐百石余稲壱ヶ所
一 川堤弐千三百六艘七百
一 川堤弐千五百稲九百
一 水門稲四ヶ所
一 石垣千七百六稲四百
一 根返り申於往来壱万三千三本
一 類焼七軒
一 同土蔵壱軒
一 同厩壱軒
一 同物置壱軒
一 板橋千五百稲五軒
一 同土蔵二軒

一 同物置小屋五軒
一 同厩七軒
一 家焼死四人 内 男弐人 女二人
一 此中山崩深井溝下ニ死去之人
右十月十三日四国山崩之時水被取等ニ而死去之人也
中村去月鉄炮打死之人相改申候
一 行倒 百五人 一 白髪 百十八人
一 湯屋通 百五十七人 一 捨子 五稲三人
一 塩織 百五拾人
当時出稼中之者男女弐千五百五人
猶此外出稼中之者

一ノ宮 人数 千八百十七人 外ニ七百三十六人
二ノ宮 〃 千二百三十人 〃 〃 二百十八人
三ノ宮 〃 千八百八拾四人 〃 〃 百五十六人
三ケ宮惣人数 四千三百三十一人 外ニ七百三十九人 四百二十九人
合 五千七百七十六人
右ハ十月廿七日綱引ニ而嘉右衛門并組合後日被召捕候者
四人也 右之外遠方ニ付不参ニ付 被仰付候ニ付 申上候

天保七丙申年十二月十六日 村内様御吟味ニ付

一 高〆〆〆〆
 拾〆〆

御尋ニ付
太郎左衛門組合
谷村藤十郎 五十六
日野村
高木○○ 五十四

右之趣御糺ニ付書付を以申上候以上

十二月十六日

日野村 組頭

前書之通申口相違無御座候ニ付奥書印形仕差上申候

一 高〆〆〆
 拾〆〆〆

御尋ニ付 大竹惣兵衛 四十七
御尋ニ付 太郎左衛門組合 高木○○ 五十三
〃 御尋ニ付 大竹惣兵衛
御尋ニ付 山中伊兵衛 四十四歳
御尋ニ付 ○○右衛門 五十七
村井専右衛門 四十七

酉ノ年ゟ之
右通人小前廿三人

組頭

中村八郎右衛門 五十五

生田格九郎 四十四

中山六右衛門 四十三

大竹彦九郎 三十五

三縄幾右衛門 四十

柳橋吉右衛門 五十九

粟野市郎兵衛 三十九

加藤太右衛門 四十二

大草権之助伜与男

服部仁右衛門 五十八

加藤又右衛門 四十三

組頭

樋口小左衛門 四十九

新島浅右衛門 五十五

篠原小十郎 四十六

田中権十郎 六十

谷口吉太夫 五十四

伊沢定右衛門 五十

飯田源次郎 三十九

右ハ先近藤備中守宅ニ而當用留帳ゟ写置候

十一月十八日

申渡ス

同月十日封書写

病中ニ付願之上
隠居与力小頭小普請入

一両ノ役之上
逼塞 小普請入

右於老中駿河守宅同朋頭大目付御目付列座伊勢守申渡之

駿河守ニ申渡之

同月廿五日

同月廿日封書写

病気ニ付去年中ニ之
与力十
領之

四月
大番組頭与力
岩村権十郎

小普請組与力
古沢八十太夫
申三十三

松平[illegible]組
山中伊三郎

御書院番[illegible]役
五井[illegible]
申四十九

一両ノ役之上
揚屋入之上

下妻市兵衛
三十七

大御番
戸田[illegible]
四郎左衛門組
長谷川[illegible]
四十九

右於老中駿河守宅同朋頭大目付御目付列座伊勢守申渡之

駿河守ニ申渡之

同月廿五日

天保十酉年正月十日大目付之通り出仕之上申渡候旨記之

正月十日封書抜写

三

書院番
松平[illegible]組

一両之儀ニ付
立逢人小頭書之
右諸色之数狭間宅柳生國務寺ニ而千寿院殿中渡之
六月十七日
同月廿五日封印抜字
書付之立逢人下
御目付
書付之
御目付之
右諸色之数狭間宅柳生國務寺ニ而千寿院殿中渡之
六月廿五日
力石膳之助并尾張
力石忠右衛門
同名権之
大目付
御書主計頭并尾張
山中仲之持
小普請組
松浦伊賀守組
力石隼之助支配
力石忠右衛門

六月十三日封印抜字
書付之中ニ而書付封
出口書之立逢人下
御目付之
右諸色之数狭間宅柳生國務寺ニ而千寿院殿中渡之
六月十三日
六月廿四日封印抜字
書付之口上
御作事方御用
小普請組
松浦伊賀守組
力石隼之助支配
力石忠右衛門
町奉行
大番組某支配
岩村指十郎
御書主計頭并尾張
山中仲之持
小普請組
松浦伊賀守組
力石隼之助支配

八四

力石惣左衛門

小納戸頭取
当時御用達
寺田宗八

御座之間二而
被仰付 御役料十人扶持
右於長崎表出張宅江御用向相勤候ニ付
御手当被下之

六月廿日

六月廿六日 遠藤但馬守

重追放

町年寄
長崎会所吟味役
芦村播十郎
五十二

町年寄
長崎会所吟味役
山中作右衛門
目付
勘定方 [illegible]
山中伸左衛門
四十五

中追放

軽追放

当時御役御免
松浦達之助
御小納戸頭取
力石惣左衛門
四十三

当時御用達
三宅宗八

町年寄
長崎会所吟味役
由比八兵衛

中村八郎兵衛
二十二

長谷川文吉
五十八

村井市郎
四十八

生田恕五郎
四十五

押込

日光目付
大竹弥之助 四十八
中山甚右衛門 四十四
大竹彦五郎 三十六
三縄庄助 四十八
桐橋善吉 二十八
栗野 二十九
加茂吉左衛門 四十
加茂又左衛門 四十六
服部仁助 四十九
松浦小左衛門 五十

右
大草能登守組与力

日光目付
篠崎小十郎 五十五
伊澤宗助 五十二
六木吉 五十八
田中権十郎 五十六
新村次郎 三十六
勝田源次郎 四十九

右
三浦伊勢守同心
出役之同心
下役初役

長谷川甚右衛門 四十六

小普請役
石井庄平 五十

右触書之趣被仰付候旨吉田様被仰渡候事ニ付奉畏候

六月十五日

下書方様 二十八

天保七丙申年秋改新写

新出来方

当地番所之役之儀 揃豊前守

御米役人え之者 揃御番

おゐて

右之外世話いたし候もの共 水野忠邦

かうし達之く 本多豊後守

いろ人とせう 白須甲斐守

手前之もの 土岐豊前守

いらん大かた之分 小笠原守

吉田様

明日之色

御書付写 越前守

之とハ中をもて

村上甚兵衛

久ろ之く

林佐渡守

小笠原

平岡丹後守

稲葉伊勢守

牧野大和守

甲比度去年国年大小御年豊年ニ候

高米やけ浦はせん豊年より麦も取れとも種もなく

なれ共ふ猶た之迄くへ候年は豊年もてせ候事

移りかわり積り

大京小判之豊年度々作とも申

明年 玄子
秋
あきの手いくつ○れ百とかもはいよし豊作りて
沢山と 反 船
酌り納る相場八

大 極上正米 五斗八

小 九斗 三十匁七卜

中 極上 四卜

当と此役人さけ之当年之まく○そなくの事代もの候

天保七丙申年十月廿二日御触書之通り御状村林中候右衛門

村上大和守殿　十河[illegible]

去月廿一日至于松山表浦ニ於て御人数行候由海因
御見之段本望大慶候猶以自是可申候
御先手御出被成候趣可然旨別而申届候て可得其意
去年者御馳走之段大儀候て 委細
其元之義弥御油断有間敷候 猶此方より
可申述候 恐々謹言
二月廿日　　存保

思召候 猶委細可申候 恐々謹言

松井図書助殿
参　[illegible]

去月廿一日松井之面々出張候処ニ 此方
之段 弥御油断有間敷候 委細
其元之儀 右之通ニ候 次第ニ此方ニ 自然何ニ候
可被申越候 猶 可申候
恐々謹言

青月

申年之従御座候
アラ国当如此御座候
其者共ニ可申候 其方へ可申届候
此方之儀 猶々其元之儀
何も申候 一同相心得可申候

依りて押付人へて二人寄衆が多陣は出思ひ候へともきも
で未代鎌倉文字の流れ候人は此所に白まるよ是く
すゝみの四よ萬人浮て事此所よ思召も浦まん女子
是かゝのもとし此所御宿も仰られ焼之数ありけれとも
皆様にて十方佳宝へ詰ら思召れ京しよりは御出置り
其立腹へて人婦かしと申も法まんでち申て人生捕く
て行てまつそんかくと我が九紙寸夫の思もち宝ずり御は
げ首級押借拾料ゆすりの候かとらさもしとゆとら
候ありは浮世にて此の事まで足で思召は数なる事衆
へ命落にて事中にも自身を出たへ将軍と思し釈迦の国
並ひて浮御太夫さる商し家様より金と省
し町家に衆能省貰ひ二世さいあるを押盤へと無文

法は事ともなる当事に悪月して出家老飯く首切って是
鬼店中の如き女そんへ共に中奥へ向て仕大油
流るれにあが々は中も々人々共そく宗と及て古事
出なる拾をんけん存事まりのその続て東のきれ事
為れは道之衆事ゆとい宿隠の下居をあんさ廣まざ之
して趣肉すゐ肉にて以て火の車拘人極山のこれ候
有て帰るとまめつをて拾料隠は事道之江戸中事
何々為ゐて下る出絶けよ浮せばみ当てる御法事し
江戸中半まで〳〵出る人とら町寄まかの一の所へ候
松中度へさりとりし

親子の遠へ未世ゝ役おとし

申年五月病気ニ付長崎奉行所江罷出候処

京橋南伝馬町
家持 名主 伝兵衛店
定吉
佐吉
長之助
冬之助

同町
同人弟

同所天王町
家持 某店
加兵衛

同人倅
加平次

平七儀親之代より右佐吉長之助冬之助共儀出精いたし
親孝行ニ付当時不実之所佐吉取扱ひ兼而借済候
等ニ相成候処年来之通補理致候ニ付小家ニ而打長

之助共小家ニ住居いたし無是非長之助書付
自分寺へ毎月能儀いたし度旨申立候ニ付夫ニ而
業ニ多分年々…
佐吉儀上下之者ニ而能々返済いたし其外家業出精
同人事親へも孝行いたし能々相勤候ニ付別段之褒美
等ニ相成候処右之者共精出し相勤候ニ付
方々能々承り候処右之通相違無之加平次
兄弟共儀右之者共出精いたし年来之通
此度御褒美として銀…
之者共右之儀平生ニ而も出精致候ニ付
直ニ御褒美被下置候ニ付其段申渡候
一統難有奉存候旨申出候

一 於町人男女衣服之儀ハ度々御触有之候処未相
衣類之儀ハ木綿ニ限リ其外羅紗之類着用不相成
甲斐傍止相守可申事 且又町役人共ニ至迄
町人ニ至迄右之類相用候者有之候ハヽ可申出候
不届之輩於有之ハ吟味之上急度可申付候 以
宿役人 佐兵衛 加賀屋甚七 相元 [illegible] 加十郎 嘉兵
手形長之助 名主 [illegible] 手形 [illegible] 相成
佐吉 別荘 補理 [illegible] 加賀屋 [illegible] 別荘
三河屋 [illegible] 補理 [illegible] 申上候
右之通被仰渡奉畏候 仍如件

南人
安吉
佐兵衛
長之助

右之者共 [illegible] 被仰渡之通 [illegible]
拙者共 [illegible] 被仰渡奉畏候 [illegible] 連印 [illegible]
右之 被仰渡奉畏候 以上

文之助
加賀屋甚七
加十郎

九十

南人
安吉
佐兵衛
長之助
名主
大 [illegible]
[illegible]
[illegible]
加賀屋甚七
加十郎

願人
同所
四郎兵衛
三郎右衛門

天保七丙申年十二月四日左膳傳次郎御役所ニ差出候ニ付差
添差上候事

要右当年
左膳傳次郎
右同
左膳(?)左衛門

一去ル(?)大坂町奉行御役所ニ摂州天王寺村相坂一心寺
誂置候より
御賞造営後之所当方中(?)ニ而年々御縁之趣一七和

不ニ付之(?)年々江戸より(?)一心寺什物之内御仏
実家(?)より当右衛門(?)へ実家之由緒
之通一旦御預ケ之処
御賞造営願書案内之成家来(?)之遂候
之旨取計向之(?)書付下ケ候ニ付
御門跡(?)之遂右衛門(?)代方之処造
営後之宿(?)之通諸勤向相合之
相成候得共自分之儀ニ付之宗
之遂ニ付御役(?)願書案加之由(?)
御賞之趣(?)誂置候より御取計(?)
執計之右衛門(?)御自分之
儀之段(?)申候之義(?)誂置

郡〻内ニ而右之網張申儀ニ付右之者共ニ而
處茂不届ニ付御役 御免之上若年
寄被仰付
右被申渡相模守宅ニ而若年寄中豊後守出座同人
申渡之、御目付徳山五兵衛・御目付〇〇〇〇

十二月四日

一心寺称誉住職之事

御請書

摂州天王寺村相坂一心寺称誉儀不届ニ付寺法ニ而
件再建之儀宗法之通被仰渡候
一 度〻宗法之通被仰主人請候ニ而大坂町奉行所ニ而摂州
天王寺村相坂一心寺称誉重キ

御條目之内一派相立候寺院ニ而右之寺ニ御座候処
大天海僧正御掛ニ而兼而相見候儀ニ付一派之寺
付相互ニ称誉儀中閑之者共大切ニ相守候間不
御定法之通称誉書付并度〻相願候得共當寺ニ而訳
相分り不申候ニ付御吟味之上称誉住職并再建譲候而
申渡候付而右寺表向ニ而諸事取計有之候而相渡候ニ付
封印いたし通り〻申渡候処右寺内住持之儀者
當寺之外ニ而修行仕候者共寺法ニ相背候次第ニ付合ニ而
相成候得共右寺之内ニ自分と申立候ニ付右体之儀ニ而
譲状之儀御取上ヶ有之候通ニ付以来不申付候
右寺之内相続候者共ニ而相分り候儀相違無御座候
御請證文差上申処依而如件

右之通御渡被成下承知仕候、然ル上者右村々

仲間共ヘ為取替証書如件

天保七申年十二月

要法寺惣代
大蔵坊(?)寺家来
役方宗之進

寺社
御奉行所

前書之趣承届候間宗之進
御渡之上御聞届被下候ハヽ御聞届被下
可然存候已上

日家来　役僧

二ノ橋屋敷

以後之為一札如件

摂州天王寺村相撲一心寺諸堂再建ニ付相撲
興行一件大坂町奉行所へ願出候処願之通御聞済之上
南御奉行所ニおゐて当月廿九日より晴天十日之間
興行被仰付候ニ付右之趣通達之御座候ニ付

一 然ル上者光律寺ニ而此度遊行寺上人御典礼
勝縁寺開基上人御遠忌ニ付摂州天王寺村ニ
於一心寺諸堂再建

御縁之有之知恩院方丈様より表装御依頼之
所蔵掛物之内元来御所蔵之品有之候ニ付而大海
僧正様之御筆蹟御寄附之品御座候ニ付
寄付被遊候得共中ニ而一心寺へ御附属之品被下候処

依之申上候得者先年右御朱印請取候節者
御宮參ニ付大坂町奉行所ゟ御朱印知恩院へ相渡
以後者其年々ニ相成候様ニ申上
御家之儀ニ付御法服着し候處先年大坂表役寺
共ハ右之事ニ付申上候由ニ付信濃守様四人ゟ申候
承合候處早々以人名前申上候處先年より御朱印相渡候
一寛永年中之御朱印ニ付其節御朱印被下置候ニ付京都
之儀ハ先年先住之節知恩院ゟ御朱印付物持参ニ付右
御條之被仰付候ニ付御宮參寄進知恩院
諸寺ゟ御目見帳面ニ付其年以後人々下り候ニ付訴
其節御朱印付物持参ニ付大坂町奉行所へ相渡候
外ニ宮中ニ大切之事ニ付其外色々有之候

一當方ニも先年御朱印之儀ニ付伺候ニ付其段京都大
坂年番寺別當ゟ申上候ニ付一同相達候處
八月中追放仕候ニ付其節十里四方追放被 仰付候
然所右様御取扱ニ付差扣候 以後
一隨而先年知恩院より御朱印之儀ニ付伺候ニ付
御宮參寄進之儀ニ付申上候 御條之事先年寄進之所
内々住持より相伺候ニ付見合之者共之儀ニ付
右之御朱印知恩院ゟ大坂法服御一同年付物之儀ニ付
之以後大坂町奉行所へ相渡候ニ付右御帳面ニ申上候
知恩院役者共ゟ右之段申上候右
御條之儀京都御一同年先住ゟ知恩院ニ而御朱印付
物帳面之内ニ御座候所御宮參之御用ニ付右之段申付

一追而見分之上相伺候処、毎日御宗
旨之儀ニ而相済候故、御見分之上仕来
不相替新田遍塞之、御井ニ

一良正院殿御位牌所寺村相伝一円寺控
寺門前ニ而候故、表法寺ヨリ新規ニ相願候ニ元来
其所ニ而寺地ニ付、長福寺之證文も御座候
右寺之儀ニ付候而、一円寺ニ付私共控
関東之寺門ニ付、寺地ニ而相違無御座候間
中先光院末寺ニ付、此段申上候

一葉御伺之儀も是迄之通、右寺地
其外表法寺ニ付、寺地遍塞之、御井ニ
一源通御伺相伝寺村長法一円寺付候ニ付

表法長仕来候ヨリ新規之儀ニ付
御願之儀ニ付候得共、御井ニ而も
葉御伺之儀ニ付、相済候段良正
院殿御位牌所右寺地ニ付、表法長仕来候寺
不相替新押込ニ 御井

一末寺之儀
葉御伺之儀ニ付、寺地之儀ニ付
右寺地ニ付、長福寺ニ而先光院御伺ニ付
寺之儀ニ付、寺地ニ付 御井ニ

一長安寺儀、西院之儀ニ付、寺ニ付候
其外相済候、寺地遍塞之 御伺ニ

一一円寺控候、寺地控候ニ付

御條目之内御神儀之趣被仰出候ニ付而従来之
承知仕候得共向後之儀ハ勿論御前々御儀ニ者
當時迄之通御座候得者何卒御寛大之
良正院殿御菩提所之儀ニ付寺社御奉行所并
御霊屋之儀ニ付御願申上候処右者御勘定奉行
寺社奉行方丈殿御霊屋別当所へ申上候又
相伺候処御用番江御届申上候様被仰付候
相済候
御當時造営願之儀ニ付一同相談之上御届可仕
相伺候処寺社御奉行所ニ而御聞済御座候
御本坊ニ而相談之上御事相済候村方之事
山内惣代 御造営願之儀ニ付寺社奉行様江

月番之寺社御奉行所へ伺出候処御沙汰之趣被仰
宗之通御座候ニ付其段御届可申上旨被仰渡候
執事役之者共ニ而右之段御伺申上候処右之段
相伺候処御沙汰之趣被仰渡候
御役人中へ申達候処右之段御聞済被下候
御上江戸表ニ而御沙汰之趣被仰渡候一同寺社
従来之通御座候外 御當時造営願之儀者
相伺候処右之段御聞済被下候
公儀御沙汰之趣ニ付御届申上候 御奉行所一同へ申上
右之段御届申上候
右之段御届申上候以上
増上寺山内役者中

京都知恩院塔頭之　仏山

右知恩院役者

京都四条表寺町
光傳寺　仁誉

京都川東西寺町
見性寺　體誉

鞍馬口
上善寺　決典

大宮御殿町
報勝院　測誉

下寺町五條下ル町

上徳寺　融誉

右知恩院塔中
良正院　懇誉

同塔中
元光院下男
源右衛門代　岩之助

京都東洞院宿
嘉持
市兵衛代　房助

大坂中寺町
浄土宗
隣寺　知随

八丁目町
日宗 足安寺
麦学代
教学

西寺町 日宗
光傳寺 見阜代

同町 同宗
西性寺
欽随

天満東寺町
日宗 九高寺 先住代
學意

寺社
御奉行所

頃天保七丙申のとし七月風雨はけしく田畑をそこなひ
米穀みのらす諸人食にせまらんとす依て此度
御公儀様にも御救ひを以て町家中へ申さとして米
銭をほとこし下々迄も有難何の御恩を蒙り候事誠の
限りなし当寺門の町人共も此節其身体相応に
御代の御恩にとて志を以て信施をなさしめ其外の者へ施米
施しを施し中にも自分の宗旨のものへ施行いたし
追善を施しける所其後此施行の事
即ち自分の宗旨の後世の為に追善の事を
なし

浅草

一 南鐐二枚にて　名ある信田支配下人共　円　伊勢屋徳兵衛　円　四郎
一 銭弐貫文にて　信田支配下家主忠兵衛　神田　伊勢屋利助
一 白米一斗にて　浅草御蔵前忠次郎　丸子屋
一 白米一斗にて　円　児玉屋権右衛門
一 白米一斗にて　浅草代地一町目　十一屋三右衛門
一 かうせん一斗にて　浅草元町一町目　まつ川や
一 白米一斗にて　三ヶ町一町目家主　円辺　高さき屋
一 白米二斗にて　近辺家主　枝たし　屋

一 銭五貫文にて　元数寄屋町一町目家主　大和屋伊助
一 金弐朱にて　さがみ町一丁目家主　大和屋金三郎
一 南鐐壱片にて　円　米屋仁三郎
一 白米五升にて　留守居組　大和屋
一 金壱分にて　六ヶ町一人前　深川　近江屋
一 銭五貫文にて　但　大こくや
一 南鐐二枚にて　浅草　伊勢屋
一 南鐐壱片にて　横山　円　坂倉屋
一 金壱朱にて　十ヶ町一人前　由緒さがみ町　鴻池

一 白米二斗にて　近辺長右衛門　神田川　近江屋源兵衛
一 白米五斗にて　外家内二斗にて　尾州　峯村屋
一 白米五斗にて　伊勢屋茂兵衛
一 白米二斗にて　浅草三ヶ町　坂倉屋治兵衛
一 白米一斗にて　下谷町一町目　松本平八　大和屋吉兵衛　越後屋平七
一 白米七斗にて　二斗にて　元井二丁目　笠原　若松屋吉右衛門
一 白米二斗　南鐐壱片にて　元町内　坂倉屋源

一 白米一斗にて　片町代地一人前　坂倉屋喜太郎
一 金壱朱にて　丸子　伊勢屋
一 南鐐壱片にて　松坂屋
一 金壱分にて　六ヶ町一円　深川　山屋七兵衛　八
一 金壱分にて　六ヶ町一円　円所　吉川
一 金弐朱にて　円　深川　伊東三郎
一 白米二斗にて　家内へ二斗　中ちう　笠屋七兵衛
一 南鐐壱片にて　浅草　坂倉屋吉右衛門
一 金壱朱にて　一人前　吉兵衛
一 金弐朱にて　深川　柳屋
一 南鐐壱片にて　代地　屋半六

百

一白米三俵ツヽ　八名四十九人より　大門前　坂倉伊之丞
一銭一メ文ツヽ　彦根町内一九人より　三川や
一白米八俵ツヽ　通旅籠町　米屋
一白米四俵ツヽ　八名四十七人中　坂倉屋喜兵衛
一金壱両ツヽ　八ヶ町十人より　世戸物丁　伊勢屋伊兵衛
（い）一銀壱匁ツヽの者百二十人の窟一人より
一生壱俵ツヽ　同人
一銭四百文ツヽ　福井信濃守様御とこたて　和泉屋喜兵衛　いせや市十郎
一米壱俵ツヽ　一万人より　山崎町三丁目　和泉屋甚五郎
一銭一メ文ツヽ　同
一金壱両ツヽ　同　本坂井自四丁目　伊勢屋

一金三両ツヽ　本丸の丁町内中　伊達屋浅之助　田中金之助　下村山三郎　日の屋
一金壱両ツヽ　中橋大鋸町　木谷実母教
一銭壱貫文ツヽ　正木町　岡田屋太郎
一銭三百文ツヽ　亀井町　太田や勝次郎　松塚幸太郎
一金弐両ツヽ　まつ下町内　越後や
一麦一斗ツヽ　京ばし水谷町　麻屋市兵衛
一金弐両ツヽ　久左衛門丁　松坂屋伊之丞
一米三斗ツヽ　日本橋七丁目　のせや宗兵衛
一同　同　いせや市兵衛

一銭壱貫文ツヽ　横山町　出羽や義助
一金弐両ツヽ　上野下谷町内　伊勢屋兵之丞
一銭壱貫文ツヽ　本町二丁目　新居善兵衛
一金壱両ツヽ　桜田本郷二丁目内　三河や
一同　同丁内　松坂屋平兵衛
一同　山ろく町　中の屋伊之丞
一金弐俵ツヽ　表小若松町六丁目　星田三太郎
一同　日本橋大工丁六丁目　いせや喜兵衛
一男三百文女三百文ツヽ　本石町十丁目　かつや清兵衛
一同　同　福田屋喜兵衛
一銭壱貫文ツヽ　日小若木川八丁目　福島屋伊之丞

一壱人生三斗ツヽ　三百文ツヽ　同丁内　村田屋甚右衛門
一銭壱貫文ツヽ　出羽町三丁目　いせや庄三郎
一生壱俵ツヽ　深川佐賀町十丁目　鍋屋長兵衛
一生壱俵ツヽ　ねぎし　島田代　橋田代　吉川代
一着物壱つツヽ　さんだや　三河や
一米代壱貫文ツヽ　山崎町森田町内　若松屋
一種壱両ツヽ　いせや
一銭壱貫文ツヽ　中村長之助

一 浅草ニ而 新堀端大通り 酉ノ津屋
一 麦三升宛 あかめ壱ツ宛ニ而 日 八百金
一 米壱升ニ而 麻布宮下町 三河屋孫兵衛
一 金壱分 麻布飯倉 坂倉伊兵衛
一 米八升 白金台壱丁目 永田兵蔵
一 壱人ニ付 壱人ニ而 浅草三間町 杉田半蔵

右之外ニも所々ニ而志施行之人多く有之候由 右ハ先達而申上候外ニも所々之施し有之候由

福井 丸屋伝七

一 浅草寺より 四谷伝馬町壱丁目 さつま屋
一 米壱斗宛ニ而 青山 善光寺
一 百文ツゝ 壱人ニ付 三とめ福井 塚田屋
一 壱人ニ付 荒木三所 坂倉伊兵衛
一 醤油一樽ツゝ 銭壱分 下谷広小路 ㊀ 酒店
一 浅草より 日本人形 和泉屋

未聞有徳志施集

頃ハ天保七年春三月下旬より雨降り続きしが七月中旬より大風吹けしく田畑殊之外損し出来方わるく又ハ八月頃より米穀ハ米穀諸品共高直ニ而諸人心痛して難渋之者多く御公儀様より御救として御府中の町家々ニ御施あつて莫大なる米銭をば被下置候事ニ而誠に有難き事ニ而候得共限有し時ハ諸物の町人ニ而有徳之者共ハ志を以て金銀の施行を仕候ハ自分の持高ニ応じて施し候又ハ金銭米銭施し申候も自分の存寄を以て施し其外所々ニ而志を施したる人多く有之候由施を施し候一々を施してこしたる事を記し置くあとにて見る人の為にかく書記し置る也、棒ニ止メて四方の諸君の志を記し置く者也

浅草下平右衛門町
より丁へ壱ヶ所
白米小売いたし　　出川屋申兵衛

大、喜兵衛
かさい屋

浅草東仲町代地
より町へ壱ヶ所　　十一屋
白米壱升にて
同所　町　壱ヶ所　権兵衛
より町へ壱ヶ所　白米三升ほど

同町
より町へ壱ヶ所　白米三升ほどにて
同　より町へ壱ヶ所
鳥越中小壱ヶ所　　いづミや八右衛門

同瀬戸物町　　いけだや
出入　壱ヶ所　白米一俵にて
北の方　町へ　白米一升にて
同　町
地内　白米一升にて
より町へ　白米一升にて　　伊勢屋平兵衛

同　前片町
壱ヶ所　白米　俵にて
より町　白米　升にて
平右衛門　三拾文にて　名主　いせや嘉兵衛

鍛冶町二丁目
町内　壱ヶ所にて
　　　　　　　　堺屋　新兵衛
　　　　　　　　伊勢屋　卯兵衛
四日　把にて　　万屋　小兵衛
　　　　　　　　万屋　金三郎

和泉橋通り平永町代地　たばこや
の　平右衛門町内　壱ヶ所　小売
為いたし

神田小柳町
小柳町　壱ヶ所にて　　伊勢屋新兵衛

浅草平右衛門町
より町　白米壱升にて　　いづミや忠兵衛

同　　　　　酒店　大
出入　白米一俵にて
町内より町へ壱ヶ所
小米にて　地内　壱ヶ所にて

東　　　　　吉川屋
三　町へ壱ヶ所
壱ヶ所にて

神田川
町内へ壱ヶ所　白米壱升ほどにて　　伊勢屋伊助
町内　壱ヶ所　町内へ
壱ヶ所　白米壱升にて　　伊勢屋儀兵衛
同　町
町内へ壱ヶ所　白米七升ほどにて　　坂本屋喜兵衛
同　町　名主
石原　一枚大まわり
めし　にいたし　　朝田氏

新　町
名主　　　　　　　　　　　伊勢屋伊兵衛
壱ヶ所　金　米にて
下宿　へ　小売いたし
　金壱両にて

新吉原
近江十町目より　壱ヶ所
三　にて　出入　金三両にて　　　扇屋

新吉原
花川戸町　田原町　新　　織町
三右町通新町三丁目　町　金杉上町　右七ヶ所　裏店有
南　子　　にて　　金三両にて　　　屋

表　　町
公町へ壱ヶ所　金　両にて　　石橋屋　右衛門

宮前町二丁目
地内へ壱ヶ所　金壱両にて　　吉屋九兵衛
町内壱ヶ所　金壱両にて
高田屋へ壱ヶ所　金　米にて

駒形町　丁目　谷町
名主　山　　　屋　　三河屋　右衛門
　　　　　　　　　金壱両にて

同七町目
地内　　　　　人町へ　　伊勢屋八兵衛

加　町　丁目
より町へ壱ヶ所　　　伊勢屋　八

同平内町　丁目
地内町内　より　壱ヶ所　　大和屋　喜兵衛
金壱両にて　町
大　にて

同町
地内町内　壱ヶ所　　伊勢屋　卯兵衛
金　　白米九俵にて
白　三

同町三丁目
御本丸御普請御用地内へ
金子米ニ而下細工者へ三両ニて　亀屋善兵衛

同本町二丁目
地面内町内とも売出新規米薪
金子両ニて其外売人金米ニて　坂本屋市兵衛

同町地面同町内とも売出新規　山田屋伝右衛門
前ニ而金売出ニて

同四丁目
地面内町内とも売出薪金売出ニて
売出小売前金米ニて　越前屋太右衛門

芝神
芝神明前売出新規金米ニて　三河屋権右衛門

芝金杉
十三ヶ町小路売出ニて　吉川屋

ごふく町
町内売出新規前金売米ニて　三河屋安兵衛

同所
地面内売出ニて町内小金売米ニて　吉田屋善右衛門

かじ町
麹町十三ヶ所売出新規前金売出ニて　圖　岩城升屋

千住加入宿
千住中小売新規前白米両升ニ枡
商人小白米三升ニて　堺屋七兵衛

下谷御成道仲町
町内へ売人抱出売
出売小金売出人抱ニて　日野屋

浅草福井町弐丁目
町内
男売人壱升米壱升
女子売升小三升　笠屋　いせ七

浅草瓦町
町内へ
売人前
白米壱升ニて　播磨屋　坂倉屋林兵衛

かじ町四丁目
地面内へ金売出ニて
町内へ小売米ニて　大黒屋

さかなだし
さかなだし中小
売新規金売米ニて　酒店　伊勢屋　丸屋

市ヶ谷田町
地面内へ金売出ニて
四ヶ町小金売出ニて　吉兵衛　大工三郎

駒込追分町
追分町
九新町
片町
竹町
三組町
太宮町小売新規前小
白米売升ニて日本町
の店売出郷部町五升
分　高倉屋

本郷四丁目
今　橋売出ニて
たばこや　笹屋　小

長屋中
白米壱升
売出ニて　駒込片町　菊屋

町内小
金売米ニて　日新　上州屋

町内小
金売米ニて　日新竹町　越後屋

町内小
白米五升
りより三升ニて

麹町六丁目
一町内小売新規前小売
金売米ニて　太田屋　彦治郎

神田佐久間町
一地面小金売出ニて
隣町小売新規前金売米ニて　川口や

御成道番町
白米売升五升
又
桜九已ニ而
坂倉屋　次兵衛

町内中小売新規
白米五升浅草　桜屋

三十間堀五丁目
町内隣町売出
売出新規売米ニて
売店へ金売出ニて　大羽屋

同又
売人前小金売出ニて
も縦小金売出ニて
太子売方小金売出ニて

八町堀中小
売出新規金売方ニて
地面前金売出ニて　かめ町　永屋　伊兵衛

西久保神谷町　堺屋治兵衛
松平[illegible]内　壱升ニ付 生麦米ニて
八丁堀[illegible]町 神谷甚七支配中ニ　近江屋[illegible]平
この[illegible]や 富蔵
壱升ニ付中小 生壱合ニて　浅草十三人
[illegible] 治兵衛
町内 浅草[illegible]ニて　浅草橋[illegible]町
米壱升 [illegible]ニて　神田[illegible]町[illegible]　広[illegible]屋
ゟ人町へ 米三升[illegible]ニて　深川[illegible]町 町内[illegible]地[illegible]　[illegible]屋[illegible]助
ゟ人町 壱升前 [illegible]文ニて
山田屋
松田屋
[illegible]屋
大口屋

浅草橋[illegible]町　山田屋
ゟ人町へ 壱升前 生壱合ニて
ゟ人丁へ 男白米三升 女ハ[illegible]升 日[illegible]　大口屋
浅草[illegible]店　太田[illegible]佳
ゟ人町へ 壱升前 [illegible]文ニて　[illegible]橋通[illegible]丁　辻屋文四郎
松平[illegible]内小 壱升前白米一升 壱人前[illegible]ニて　[illegible]
(辻)
長屋へ 白米一升 ゟ人丁ハ三升二合ニ付　神田[illegible]町 米問や [illegible]屋
出入[illegible] [illegible]ニて　[illegible]助

小日向水道町　[illegible]や 油店
近辺小 白米壱升ニて　千住小塚原中宿　伊坂屋[illegible]衛
ゟ人町へ 壱人前 白米一升ニて 日[illegible]　い世屋[illegible]衛
ゟ人丁へ 壱升ニ付 白米壱升ニて　浅草[illegible]　坂倉[illegible]郎
壱升前 生三合ニて　浅草[illegible]福[illegible]町　坂倉[illegible]兵衛
ゟ人町へ 白米一升壱[illegible]ニて　深川[illegible]福[illegible]町　坂倉[illegible]衛
ゟ人丁へ 白米一升 生[illegible]ニて　[illegible]　近江屋
ゟ人丁へ 白米一升 薪[illegible]把ニて　浅草[illegible]片町　坂倉[illegible]兵衛

浅草[illegible]　太和屋 伊兵衛
町内小[illegible]ニて [illegible]
[illegible]田町
壱升前白米[illegible]ニて　[illegible]や
市ケ谷田町
[illegible]白米[illegible]ニて　須[illegible]
[illegible]　松[illegible]
[illegible]　[illegible]屋
同田町　[illegible]利助
小日向水道町　山崎や [illegible]衛
町内小壱[illegible] 百[illegible] 松平[illegible]

湯島二丁目
町内へ米舂渡世
味噌商売
伊勢屋 利八

隣町小売新
壱ヶ所
深川油堀
古川 半兵衛

町内小売新
同所
米屋 勇蔵
中川十三ヶ町 [illegible]
[illegible]

同所 堀留町
幸崎屋
右八ヶ町 小売

神田明神下
花房町
信松屋
白米三升ニ付一俵ニ

照降町 小岸
東店
豊嶋屋

佐久間町河岸
尾張屋 太七

堀留町
いせ屋

本石町二丁目
近江屋
金沢丹後

表〆本町
霊岸嶋
西

湯嶋桜町
かじ屋

深川海辺大工町
三河屋

昌平橋外
紀伊国屋

深川海辺大工町
近江屋

上槇町
深川佐賀町
いづみ

古川
山形
川太

伊勢屋
人

小伝馬町一丁目
大坂屋

同三町目

同所

小新場町
町内小 壱軒前 都合六人 ニ而御座候
松本平治郎
稲荷屋宗兵衛
永嶋屋松助
渡辺甚五郎
かたや彦兵衛
陸奥屋市兵衛

本八丁堀
壱丁目ゟ 五丁目迄 壱人前 金壱朱ツヽ
てらし 大坂屋
町内へ 一軒前 白米五升ツヽ
湯島ニ中坂 三河屋 三小兵衛

本町弐丁目
松平内匠頭 也んとの 名前 粥出来候ニ付
坂上 長兵衛
金吹町 遠屋 半兵衛
増之内 壱軒前 金壱朱ツヽ

上中下三町へ 水道丁 出嬶之店 旭屋
町内壱軒ニ付 増之内へ 白米 壱升宛ニ而
麹町三丁目谷町 酒井 三河屋
町内小 壱軒前 金壱朱ツヽ
通弐丁目 山本 嘉兵衛
北今之前 白米五斗 中橋おか町 実母之 木村氏
町内へ 壱軒前 金壱朱ツヽ
本石新町 家
町内へ 壱軒前 白米三斗 三丁目 いせや 新六
伊勢町 三丁町へ 金壱朱 隣家和店 つちや

深川堀川町 ちぢしや
壱軒前 金弐朱ツヽ
日傭座町 山屋 嘉八
町内小 壱軒前 金壱朱ツヽ
日本町
町内小 壱軒前 金壱朱ツヽ
松島町小 久住

同海辺大工町 ゆうかや
町内へ 壱軒前 白米五升ツヽ
八丁堀 長次
町内 講町小 百疋 壱軒ツヽ 松屋 源助
箱崎町壱丁目
壱弐丁目 大川端町 新堀町 右四ヶ町 古着屋 小川
壱軒前 金壱朱ツヽ

金澤町 大野屋 金三郎

江戸之善陰徳繁昌記

御府内町人己れ自分地面斗銭ニ而も数多抱居候
八丁堀ニおゐて 松坂屋吉蔵殿

頃ハ天保七申ノ七月十八日
ハ朝ゟ雨ふり出し田畑ともうるおひ諸人安堵ノ代
と成ける也
御公儀様ニ而も當人之合と候く江戸中の町役人衆中御触出して夫々
此度の月御差出し之下知を被為有上候も御奉行所ゟ御
家主も限相し時々御府内の町々人々無難を立て然るの人々右半も
御代の御仁徳を思ひ自分地面之内へ長屋貸セ住候人銭米等
を施し申候也近辺隣家迄も施しゆえ之を一紙につゞり
後世の為見人之備ものゝ也

一 金壱分ツヽ　八丁堀ら迄　神谷氏支配地借　近江屋庄兵衛　三河屋富蔵

一 金壱分ツヽ　同所神谷氏支配中店借　永楽屋儀兵衛

一 金二朱ツヽ　同　伊勢屋喜兵衛

一 金壱分ツヽ　同　出雲屋利兵衛　同　松屋吉兵衛　同　利作

一 金弐朱ツヽ　同　石橋栄蔵

一 銀壱匁五分ツヽ　同魚也まち上店　伊勢屋庄助

一 金壱分ツヽ　小出屋吉兵衛　万屋庄兵衛

一 壱朱ツヽ　本八丁堀一丁目　大坂屋

一 米壱斗ツヽ　本八丁堀住吉町　伊勢屋喜之

一 同五升ツヽ　同二丁目小　山本庄兵衛

一 米五升ツヽ　小出三升ツヽ　右組合中小間割同店人より二朱ツヽ

一 金壱分ツヽ　固　小網町　大坂屋吉兵衛　いせや吉兵衛

一 金壱朱ツヽ　廿日町　伊勢屋伊之助

一 金壱分ツヽ　堀留町　いぬゐ

一 銀六匁五分ツヽ　小網町一丁目　外町店借　秋田屋五三助　高遠屋　大坂屋松之助　松本屋　徳島屋市之丞　三河屋喜之

一 金二朱ツヽ　一人　大坂屋　庄作屋庄兵衛

一 同　利右衛門

一 銀壱匁ツヽ　小網町一丁目小　淵屋金兵衛

一 金弐朱ツヽ　小網町一丁目小　田宗屋栄次郎

一 金二分ツヽ　三十間堀五丁目　島屋

一 金壱朱ツヽ　深川　外三組壱分　幸徳屋

一 金二朱ツヽ　林金三郎

一 金一朱ツヽ　米屋勇兵衛

一 銀壱匁ツヽ　同小網町四丁目　近江屋五兵衛

一 金壱分ツヽ　日本橋　湯浅屋吉兵衛

一 金壱分ツヽ　同佐賀町　久住吉右衛門

一 金二朱ツヽ　同一色町　川瀬屋吉兵衛

一 金壱分ツヽ　同さが町　古川半兵衛　山屋七兵衛　八

一 金弐朱ツヽ　同　柏屋五三五郎

一 金二朱ツヽ　同　紀伊国屋

一 米壱斗　麦二斗　外に　同廿六町一人　万年町　角屋

一 銀十五匁ツヽ　内藤氏
一 金二朱ツヽ　高やまきへ
一 金一分ツヽ　いせや吉八
一 銭二百文ツヽ　よろづや
一 蕎麦一升ツヽ　松や宗之
一 米二升ツヽ　山田や
一 同断　井やいさ
一 米三升ツヽ　岩村氏
一 六匁ツヽ　若や
一 米五升ツヽ　同

一 米十五升　若や
一 同八升　同
一 同十五升ツヽ　坂倉や
一 同十五升ツヽ　同
一 同断ツヽ　若や
一 同断ツヽ　同
一 銀四匁 米三升ツヽ　坂倉や甚四郎
一 米一斗ツヽ　同
一 同三升ツヽ　同
一 米ツヽ　五やいさ八

一 四百文ツヽ　前田氏
一 米一升　利倉や
一 十五匁ツヽ　池田や　山田や　松や　坂倉や　大口や
一 金壱分ツヽ　山田や
一 米三升　大口や
一 米五升　いせや

一 銀十五匁ツヽ　池田屋
一 金二朱ツヽ　大●酒店
一 金二朱ツヽ　さかや
一 金壱分ツヽ　池田や
一 米二升ツヽ　大和屋
一 同一升　十一屋
一 米七升　いせ七

一 四両ニ而　浅草福井町壱丁め　播磨屋半兵衛

一 米壱斗 返済ニ而　日本橋通六丁目　伊勢屋平十郎　坂倉屋半之丞

一 米五斗ニ而　先ヶ者へ遣ス　日本橋　瀧口彦八　坂倉屋林之丞

一 金二朱ニ而　名主御渡ニ而　呉服町　三河屋

一 金二朱ニ而　日　木屋

一 金二朱ニ而　日　さの屋　伊勢屋喜兵衛

一 金一分ニ而　日本橋　四谷屋清助

一 金一分ニ而　他へ返ス　一朱ニ而　本所亀沢町　京屋権之丞

一 金壱分ニ而　浅草　河内屋

一 金二朱ニ而　浅草三十間堀　伊勢屋太兵衛

一 金二朱ニ而　本石町　大黒屋

一 壱分ニ而　本所相生町四丁め　加賀屋忠兵衛

一 味噌一貫目ニ而　本所松坂町　近江屋伊兵衛

一 金壱朱ニ而　本所八丁堀　松屋平吉

一 金壱分ニ而　浅草田原町　越前屋孫兵衛

一 金壱分ニ而　日本橋 工合　子共六人一朱ニ而　子共三八二朱ニ而　外ニ一分　浅草三丁目　いせや　伊勢屋半左衛門

一 金二朱ニ而　浅草三十間堀　伊勢屋清之丞

一 日比谷　日本橋　大黒屋伴助

一 金二朱ニ而　日本橋　伊勢屋十兵衛

一 金壱朱ニ而　他ニ五人分之八二朱ニ而　四谷塩町工合　近江屋藤四郎

一 金壱分ニ而　浅草三十間堀　三河屋喜兵衛

一 六両ニ而　赤坂伝馬町　越前屋次郎兵衛

一 三両三分壱朱　大黒屋　日本橋　大坂屋喜兵衛

一 二両二分二朱　四谷新宿　越前屋半七

一 金壱分ニ而　子共六人一朱ニ而　子共三八二朱ニ而　四谷一分　いせや

一 壱朱ニ而　外ニ二朱ニ而　四谷　伊勢屋安兵衛

一 金壱朱ニ而　米五升ニ而　下谷坂本四丁目　河内屋喜之助

一 一朱ニ而　日　油屋久之丞

一 五両ニ而　麻布桜田町　山本屋喜兵衛

一 米五斗ニ而　日四丁目　内田屋安八

一 二朱ニ而　さがみや弥助

一 米三斗ニ而　麻布通り　いせや宗七

一 五両ニ而　日本橋　大和屋喜七

一 二朱ニ而　表ニ而　三田　村上伊勢屋

一 壱朱ニ而　子共八一朱ニ而　裏店　四谷　堺屋　増田屋喜兵衛

一 米八斗ニ而　飯倉町三丁め　麹町　米屋

一 塩五升　さがみ屋　堺屋新之丞　伊勢屋勘之丞　茅屋金之助　茅屋忠之丞

一 日　さがみ屋　芝三本榎　万屋又之丞

一 金二朱　さがみ屋　日本橋　

一 三朱ニ而　日九丁目　信濃屋喜兵衛

一 浅草　金壱朱ニ而　丁三丁め　百七　芝大原町　仙七

一 米三升ツヽ 麻布田町 ひま大吉
一 百疋ツヽ 目黒さいこまし 吉兵衛
一 青銅百疋ツヽ 四ツ谷伊賀町 尾張や
一 金壱朱ツヽ さめがばし 和泉や清兵衛
一 同 同 日のや
一 金二百疋 麻布村 大黒や
八月十二日
一 金一分ツヽ 浅草 日野や
一 金百疋 浅草寺
一 同
一 百文ツヽ 日本橋上槇町 和泉や太兵衛

一 金壱分 伊勢さん 実母さん 十川屋
一 同
一 金一朱ツヽ 下谷 伊勢や
一 米三升ツヽ 小あミ町 倉田 文七
一 金二分ツヽ 竹屋 蒲や 萬吉
一 二朱ツヽ 通町 上州や
一 米三升ツヽ 神田竹町 鍋屋
一 通町 米屋 大和や

一 百文ツヽ 下谷池之端 日のや
一 二百文ツヽ 和泉町 かめのや
一 金弐朱ツヽ 神田 大和や 伊兵衛
一 金弐朱ツヽ 新橋 吉のや
一 米一斗ツヽ
一 米三升ツヽ 高砂町 山半
一 百文ツヽ
一 金三十文 奈良町 伊勢や
一 金一分ツヽ 本所 近江屋
一 百文ツヽ 日本橋 さのや
一 同 昌平橋 うちだ

一 二朱ツヽ 昌平橋 きの国や
一 百疋ツヽ 浅草 大和や
一 米三升ツヽ 本所 新六
一 弐朱 新道
一 百文ツヽ 下谷 山形や伊兵衛
一 金二朱ツヽ 下谷 伊勢や
一 二朱ツヽ 岩 忠兵衛
一 同 吉や友七

一 金二朱ツヽ 日本はし… 笹屋…
一 同 田中や…
一 同弐ツヽ 上…七丁 松坂や
一 壱分ヽ 平川町 …こや
一 米七升ツヽ 家 持
一 米二升ツヽ 同…三丁め 平のや
一 … 升 倍
一 米五升ツヽ 深川海辺大工丁 遠の屋…
一 米壱斗 浅草…天王町 笹や利助
一 二朱ツヽ …斗二升ツヽ 日三丁目町 松屋…
一 二朱ツヽ …小…文 深川大…町 水田…
一 二朱ツヽ …ツヽ

一 金…ツヽ …丁目 紙や…
一 金二朱ツヽ …町…四 万屋…
一 米壱斗ツヽ 白銀丁二丁め 仙…
一 …… …中 …のや
一 米…升ツヽ 市谷…町 …松や
一 金一分ツヽ 神田…町 尾張や太七
一 …ツヽ 日本橋…三丁目 …
一 米…升ツヽ 市谷田町二丁め …
一 壱分ツヽ 日二丁目 笹や…
一 同
一 同
一 米二升ツヽ … 笹や…

一 …ツヽ 四ツ谷…町 …伊…
一 金壱分ツヽ …町 坂本や…
一 二朱ツヽ 青山…丁 笹や…
一 金…朱ツヽ 同…町 …
一 同 同五十人町 …
一 米一斗ツヽ 小…町 笹や…
一 金壱分ツヽ 左…丁 … 近江や… …屋… 金沢丹後
一 同一分ツヽ 小網町二丁め 大坂や太助
一 同一分ツヽ 同三丁め ひろや…
一 同一分ツヽ …
一 …ツヽ 深川…町 織…や

一 …ツヽ 左…町 山…
一 金二分ツヽ 南新堀町一丁め二丁め 清水屋 … …代… 白…や 伊坂
一 金二朱ツヽ 同二丁め 井上…
一 金壱分ツヽ 東…町二丁目… 松屋…
一 同 同五…中… 松屋…
一 金三朱ツヽ 深川…町… 信濃屋…
一 …ツヽ 芝金杉 丹波屋
一 金一朱ツヽ 飯田町 …松や
一 … 万太…店

飯田町[illegible]

呉服橋
南新堀
壱丁目
通町
日本橋
川通
右
三ヶ所
[illegible]

一 金一両ツヽ
住吉屋半兵衛
住吉屋利兵衛
森田半三郎
伊坂安兵衛
白子屋伊兵衛
清水屋五兵衛
岩城屋彦太郎
万屋六兵衛
直留屋[illegible]
伊坂十兵衛
白子屋[illegible]兵衛
石橋久兵衛
坂瀬 山城

一 白米五斗ツヽ 同所 御饅頭元祖 上菓子家 [illegible]

一 金壱分ツヽ 同所[illegible] 伊坂[illegible]

一 白米[illegible]ツヽ [illegible] 大坂屋[illegible]

一 金壱分ツヽ 長谷川町 田[illegible]

一 金二朱ツヽ [illegible] 播磨屋[illegible]

一 銭[illegible]ツヽ 三田[illegible] [illegible]

一 米壱斗ツヽ 芝田町 [illegible]

一 金壱分ツヽ 同平川丁 長谷[illegible]

一 金壱分ツヽ 同所 山田[illegible]

一 金壱朱ツヽ 市谷一丁目 紅[illegible]

一 金二朱ツヽ [illegible] 丸屋[illegible]店

一 金一朱ツヽ 渋谷[illegible] 油や虎之助

一 金一分ツヽ 神田[illegible] 森田屋[illegible]

一 金一分ツヽ 同所 辻又四郎

一 金二朱ツヽ 命[illegible] 下谷廣小路 ㊀ 酒店

一 銭一〆文ツヽ 大 よりきるにまで [illegible] 福島

一 [illegible] 下谷金杉二丁目 唐木や

一 白米七升ツヽ 浅草[illegible] 坂倉[illegible]

一 同 同 坂倉仁兵衛

一 白米七升ツヽ 浅草[illegible] 伊勢屋[illegible]

一 同六升ツヽ 同 坂倉屋[illegible]

一 同一斗五升ツヽ 同 森村[illegible]

一 同壱斗ツヽ 同 伊勢屋[illegible]

一 同 同 伊勢屋[illegible]

一 同 同 伊勢屋[illegible]

一 同 同 利倉屋[illegible]

一 同 浅草[illegible] 和泉屋甚兵衛

一 白米一斗ツヽ 同仲丁 [illegible] さのや

一 町中 金一分ツヽ 外ニ[illegible]一朱ツヽ

一 米三升 [illegible] 井上[illegible]

一 金二朱ツヽ 浅草[illegible] さのや

一 金一分ツヽ [illegible] 玉や山三郎

一 同 [illegible] 扇や[illegible]

一 [illegible] 浅草[illegible]田原 かど川[illegible]

一 銭四百文ツヽ 同所 [illegible]湯

一 銭四百文ツヽ 同 伊勢屋[illegible]

一 銭三百文ツヽ 同 米屋[illegible]

一 金二朱ツヽ 南伝馬町一丁目 [illegible]

一 米〔 〕升枡施行之者和 天保七丙申年十月大坂ニ而施行

一 銭十八百五拾貫文 鴻池屋善右衛門
一 同弐拾八百五拾貫文 加嶋屋久右衛門

一 同千三百五拾貫文 加嶋屋作兵衛
一 同七百五拾貫文 米屋平右衛門

一 同三百五拾貫文 鴻池屋新十郎
一 同三百五拾貫文 鴻池屋庄兵衛

一 同五百五拾貫文 辰巳屋久治
一 同百五拾枚五拾貫文 近江屋休兵衛

一 同三百五拾貫文 炭屋安兵衛
一 同三百五拾枚五拾貫文 三井八郎右衛門

一 同三百五拾貫文 平野屋五兵衛
一 同百五拾貫文 升屋平右衛門

一 同百五拾枚五拾貫文 嶋屋市兵衛
一 同百五拾貫文 炭屋彦五郎

一 同弐百五拾貫文 米屋喜兵衛
一 同百五拾貫文 天王寺屋忠兵衛

一 同千五拾貫文 住友甚兵衛
一 同三百五拾貫文 泉屋甚次郎

一 同九百五拾貫文 （近江屋半兵衛 鴻池屋正兵衛 炭屋彦五郎）

一 農人橋材木町

一 銀五拾五匁 美濃屋善兵衛

一 同五拾五匁 天満市之町

一 同百五拾匁 本町弐丁目

一 同拾五匁 葭屋橋壱丁目 泉屋久兵衛

一 同三百五拾匁 葭屋橋壱丁目 二井屋太兵衛店 [illegible]

一 同弐百五拾匁 [illegible]屋治郎兵衛 右出入[illegible]支配人

一 同弐拾五匁 淡路屋吉兵衛店 借屋 伊兵衛

一 同 [illegible] 座兵衛

一 同拾五匁 越後屋新助

一 同弐拾五匁 上町 借屋 蛭子屋儀兵衛

一 同拾五匁 西村屋橋之助

一 同拾五匁 泉屋平兵衛

一 同拾五匁 加賀屋彦兵衛

一 同拾五匁 越後屋藤助

一 同三拾匁 越後屋庄兵衛

一 同五匁 越後屋忠兵衛

一 同三拾匁 近江屋庄兵衛

一 同弐拾匁 東堀町四丁目 松屋伊兵衛

一 同百五拾匁 備後町壱丁目 鳩屋伊兵衛

一 同百五拾匁 上 近江屋市兵衛

一 同五拾匁 今橋弐丁目 鳩屋徳兵衛

一 同五拾匁 鴻池屋善兵衛

一 同五拾五匁 尼崎町壱丁目

一 同弐百五拾匁 長堀茂左衛門町 播磨屋佐兵衛

一 同弐百五拾匁 小橋屋彦兵衛

一 同弐百五拾匁 堺屋利兵衛

一 同弐百五拾匁 河内屋勘兵衛

一 同三拾五匁 大宝寺町

一 同三百匁 曲折町 平野屋仁兵衛

一 銀拾枚 長堀茂左衛門町 泉屋久兵衛

一 銀拾五匁 住友甚兵衛

一 同拾五匁 小橋屋彦兵衛

一 同拾五匁 蒲島屋源兵衛

一 同拾五匁 和泉屋利助

一 同拾五匁 堺屋利兵衛

一 同拾五匁 泉屋久兵衛

一 同拾五匁 河内屋勘兵衛

一 同拾五匁 伏見屋伊助

一 同拾五匁 大和屋久兵衛

一 同[illegible]匁 [illegible]四丁目 亀屋伊兵衛

一 同三拾五匁 和泉屋利兵衛

一 同拾五匁 近江屋権兵衛

一 同弐百五拾匁 佐渡町四丁目

一 同百五拾匁 平野町弐丁目

一 同百五拾匁 南久宝寺町 橘屋直兵衛

一 [illegible] 縄屋佐兵衛

一 銭百廿五貫文　玉屋権三郎　角屋忠三郎　加賀屋小三郎

一 同百廿貫文　本町　町会内之人

一 同五拾貫文　小橋屋義兵衛

一 同五拾貫文　堀江町　播磨屋吉次郎

一 同弐拾貫文　戎島町

一 同弐百貫文　内平野町　菱屋長兵衛

一 同五拾貫文　北久宝寺町五丁目　大和屋伊兵衛

一 同三拾貫文　備後町三丁目

一 同五拾貫文　安土町壱丁目

一 銭弐拾貫文　備後町弐丁目　淡路屋権兵衛

一 同三拾貫文　高麗橋弐丁目　大和屋利八

一 同百貫文　町会内七人

一 同百廿貫文　長堀茂左衛門町　伏見屋喜四郎

一 同五拾貫文　塩屋利兵衛

一 同五拾貫文　備後町五丁目　塩屋喜兵衛　三田屋徳兵衛

一 同百廿貫文　新靱町　万屋伊三郎

一 同百貫文　南久宝寺町弐丁目　紙屋伝兵衛

一 同三拾貫文　上町　町会内

一 同弐拾五貫文　南久宝寺町弐丁目　柏屋宗兵衛

一 金五両　京橋五丁目　因幡屋治三郎

一 同百廿貫文　下難波北富田町　摂津屋治兵衛

米価之高直并新銭之直段ニ付中之井割
賦ニ割当候ニ付相応之極難渋之者共ニ
文ニ家内之者共人々右之通相調候ニ付米之
渋人之者共人ニ付其ニ付其上家内人数之
不抱之者共ニ割渡其ニ付致候之割渡
其外難渋之者共家業之致候相心得候
美事之申付候様相心得候之抱候者実ニ奇特之事
候割渡之者相渡候者　其旨家主ニ申
候

一 白米之文抱難渋之向ニ付右ニ上者
ニ合候之者人数ニ付右之分難渋并
当救米取扱　町中向ニ右文相渡町別
割渡ニ付右四ツ時町之年寄へ申付

兼而御下米値段之儀

一 白米拾七石六斗壱升

此代金拾両ト銀拾弐匁八分七厘　本所御蔵　橋本

右之通割渡候旨被仰渡候ニ付書上申候以上

天保七丙申年十月　掛り　惣年寄

申年春ニ至り米価弥高直ニ相成候ニ付小売米値段之
為心得御聞置申度候

正月　金壱両ニ付　玄米六斗弐升　百文ニ付　白米八合五勺

二月　金壱両ニ付　玄米六斗三升　百文ニ付　白米八合五勺

三月　〃　〃　六斗四升　白〃　八合五勺

四月　〃　〃　六斗四升　上七合五勺　中八合五勺　下八合五勺

五月　〃　〃　六斗八升　七合五勺　八合

六月　〃　〃　五斗三升　七合五勺

七月　〃　〃　三斗七升　五合

八月　〃　〃　三斗六升　四合五勺

九月　〃　〃　三斗三升　四合五勺　三合五勺

十月　〃　〃　三斗　四合

十一月　〃　〃　三斗　四合

十二月　〃　〃　三斗　四合

国立公文書館
National Archives of Japan

申年七月 萬西早新米相場一石ニ付 [illegible]

申ノ七月十五日ニ成ル

一 餅米白 壱石ニ付 百五拾匁 [illegible]

一 蜜柑 壱籠 大壱分 中 [illegible] [illegible]

[illegible]

申ノ七月廿八日 [illegible] 相場 [illegible]

一 銭 [illegible] 拾六文

一 [illegible] 百文 [illegible]

一 豆 一斗 八合

一 麦 〃 四合

一 胡蘿蔔 壱把 八文

一 慈姑 一斤 廿文

一 [illegible] 一斗 [illegible]

一 大根 一本 [illegible]

一 牛房 〃 拾文

一 蓮根 〃 百文

一 椎茸 一斤 拾文

一 菜 一把 十二文

一 里芋 壱貫目 六拾文

一 独活 壱把 拾文

一 黒胡麻 一升 [illegible]

一 酒 一升 四拾文

一 味噌 一貫目 百文

一 明白 一斤 [illegible]

一 芹 壱把 四文

一 長芋 一斤 [illegible]

一 葛粉 一斤 [illegible]

一 蜜柑 一斤 八文

一 セウカ 一斤 [illegible]

一 味醂 一升 四拾文

一 燈油 一升 [illegible]

一 胡麻油 一斤 [illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan